



概要 2021

国立大学法人

富山大学

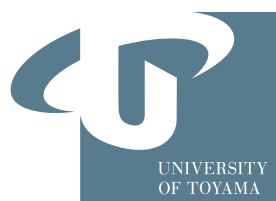
University of Toyama



## Contents

学章	1	学部附属教育研究施設	23
学長挨拶	2	附属学校	23
トピックス	3	役職員数	24
理念と目標	5	学部学生の地域別入学状況	25
沿革	5	学科・専攻・取得できる学位	25
組織図	7	学生の定員・現員	27
事務組織	8	外国人留学生数	29
役職員	9	卒業・修了者の進路状況	30
学部・教養教育院・大学院	11	大学教育再生戦略推進費等採択状況	32
和漢医薬学総合研究所	15	共同研究講座	32
附属病院	16	寄附講座・寄附研究部門	33
附属図書館	17	附属病院診療実績	34
教育・学生支援機構	18	国際交流	35
研究推進機構	19	自治体等との連携協力に関する協定	39
地域連携推進機構	20	公開講座等の実績	40
国際機構	20	財務状況	41
国際交流会館	21	科学研究費助成事業(科研費)等の受入状況	43
学内共同教育研究施設	21	学生の厚生施設	44
学外との連携による教育研究施設	21	土地・建物、部局等所在地	45
保健管理センター	22	キャンパス図	47
未病研究センター	22	位置図	50
ダイバーシティ推進センター	22		

### 学章(シンボルマーク)



アルファベットの「T」と「U」をモチーフにしたデザインは、富山大学が天空・世界を飛翔するイメージを表しています。大きな楕円は国際社会を、小さい楕円は地域を表し、一体となって発展することを表現しているシンボルマークです。

マークの土台となる四角は伝統性を示しており、シンボルマークが三次元的でダイナミックに構成されることにより、創造性の豊かさを表現しています。

メインカラーのパール感を持った知的な印象のブルーグレーは個性的な色で、富山の豊かな自然の雪や水をもイメージできます。自然や人々の調和の中から生まれる独自の創造性を生かし、活躍する学生を育てていく世界レベルの大学を表現しています。

## 地域・世界で活躍する「人」の力を育む富山大学を目指す。



学長 齋藤 滋

富山大学は、平成17年に旧富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学が再編・統合し、16年目を迎えた全国有数の総合国立大学です。現在、9学部(人文・人間発達科学・経済・理・工・医・薬・芸術文化、都市デザイン)及び附属病院や和漢医薬学総合研究所など複数の教育・研究施設に、9,000名余の学生と2,200名余の教職員が在籍し、多様な分野での教育・研究・社会地域活動に幅広く活躍・貢献しています。

SDGs、人生100年時代、グローバル化、人口減少などの社会変化が訪れる中、我が国は課題先進国として、世界の国々が今後直面する課題にいち早く対応していく必要があります。成熟社会を迎える中で、直面する課題を解決することができるのは「知識」とそれを組み合わせて生み出す「新しい知」であり、その基盤となる「高等教育」が鍵となります。富山大学では2020年度からデータサイエンス教育の全学必修化と企業等との連携推進、熊本大学との連携による先進軽金属材料国際研究機構の立ち上げなど、高度人材育成を図り、日本の産業と科学技術の発展に貢献しております。また新たな創薬への取組や、未病研究など、常に新しいことにもチャレンジしており、「おもしろい大学」を目指しています。

本学が立地する富山県は、素晴らしい自然環境や農林水産資源、伝統ある歴史・文化、卓越した産業活動力など、豊かさと幸せを強く感じることのできる場所です。富山大学はこれからも、富山県における地域活性化の中核的拠点としての役割を担いながら、時代の課題に応える先端的研究を推進し、新しい業績や情報を社会に発信する役割を果たして参ります。学内外関係者の皆様にも、引き続きご指導ご支援頂けますようお願い致します。

## 大学改革

### 富山大学と熊本大学が「先進軽金属材料国際研究機構」を設置

富山大学と熊本大学は2021年3月15日、富山市内にて、「国立大学法人熊本大学と国立大学法人富山大学との先進軽金属材料国際研究機構の設置及び運営に関する協定書」を締結し、4月に先進軽金属材料国際研究機構を設置しました。

同機構は富山大学先進アルミニウム国際研究センターと熊本大学先進マグネシウム国際研究センターが有する資源を有効に活用し、SDGs、環境・エネルギー、医療機器等の重要課題解決に向け、軽金属材料の革新を基軸にした世界的・全国的な研究及び教育の総合的推進を目的として設置されたもので、今後、軽金属材料の研究、人材交流及び企業との共同研究により、軽金属モノづくり高度人材育成を進めていくこととしています。



## 附属病院

### 総合感染症センターを中心に、新型コロナウイルス感染症に対する診療および研究体制を確立

附属病院では、感染症に関する予防・制御・診断・治療・教育・研究を統括する総合感染症センターを2018年5月に設立しており、診療面においては、第二種感染症指定医療機関としてあらゆる感染症患者の診療を24時間365日体制で行っています。新型コロナウイルス感染症においては、救急科および総合診療科との連携により2021年4月までに約200名の入院患者を受け入れており、ECMO管理が可能な県内では数少ない施設であるほか、新薬治験等にも積極的に参画しています。

また、研究面においては、高病原性ウイルスパンデミックに迅速対応可能なハイスループット中和抗体検査法の研究を行っています。さらには、医学部 免疫学講座および工学部 遺伝情報工学講座等が加わり、新興ウイルス感染症と戦うための病院検査体制強化と臨床検体から世界最短かつ恒常的に高力価ヒト・モノクローナル抗体を作出する「富山大の知の結集」体制を構築しています。



## 地域連携

### 文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」

平成27年度から令和元年度まで取組んだCOC+事業の事後評価結果が「S評価」となり、インターンシップ参加者数や県外出身学生の富山県内の就職率の向上、大学のカリキュラム構築や地域との連携体制が評価されました。

この5年間の事業を通して、地域高等教育機関との連携を強化し、地域と高等教育機関が相互に連携した大学教育のための小規模で実働的な地域連携プラットフォームや、事業を推進するためのIR(Institutional Research)機能が形成されました。さらに、様々な施策を企画・実施し、実施後も効果を測定し改善につなげていくPDCAプロセスも定着しました。こうした成果を今後の大学の価値向上につなげていきます。

また、COC+継続事業として、「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」(令和2年度から令和6年度)に信州大学(事業責任大学)、富山大学、金沢大学との3大学で申請し採択されました。今後は地域が求める人材を養成するための指標と教育カリキュラムを構築し、就業先の充実・雇用拡大を図り、若者の定着、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に資することを目指します。



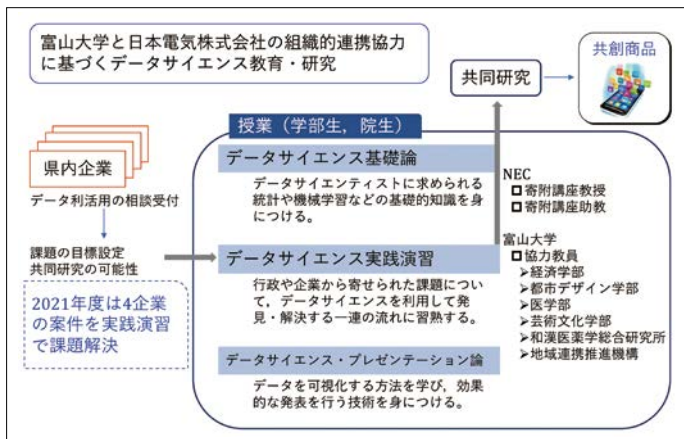
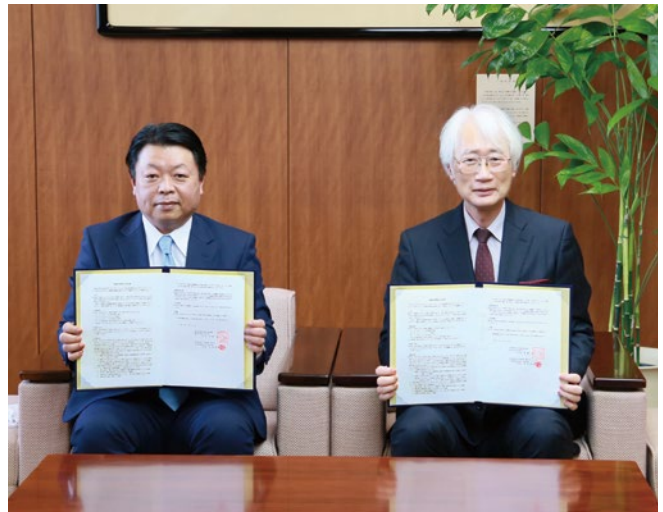


教育

## 富山大学とNECがデータサイエンス寄附講座を開設

富山大学と日本電気株式会社 (NEC) は、地域の課題解決や産業創出に貢献するデータサイエンス教育・研究を目的とした連携協力協定を締結し、データサイエンス寄附講座を2021年4月に開設しました。

近年、様々な産業でデータ利活用が急速に進み、産学が連携してデータサイエンティスト育成に取り組むことが求められています。こうした中、本学は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開」の協力校に選定され、2020年度からすべての学部学生に対して「数理・データサイエンス教育プログラム」を必修科目として提供しています。NECは富山市と「ICTによる都市のスマート化に関する包括連携協定」を締結しており、データ利活用型スマートシティのさら



なる高度化を目指し、社会課題の解決につながるICT関連施策を推進しています。今回の連携協力協定および寄附講座の開設は、これらの一環であり、今後両者の豊富な知見や実績を活かし、統計学などデータサイエンスの基礎を学ぶ講座から企業の実際の事例を扱った実践演習まで様々な講座を運営します。

また、総合大学ならではの強みを生かし、データサイエンス専門の教授や各分野専門の教授と学生がデータサイエンスを活用して地域課題を解析することで、富山の地方創生を促進する商品やサービスを創出します。

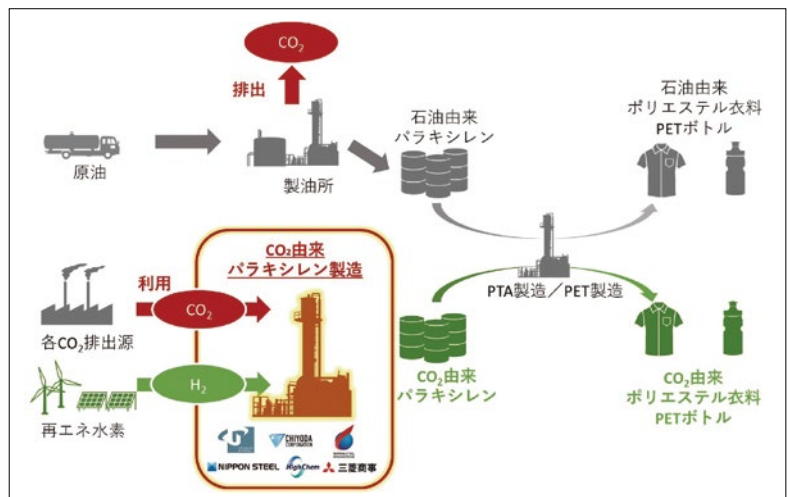
研究

## NEDOの「カーボンリサイクル・次世代火力発電等技術開発／CO<sub>2</sub>排出削減・有効利用実用化技術開発／化学品へのCO<sub>2</sub>利用技術開発」に採択

富山大学、千代田化工建設株式会社、日鉄エンジニアリング株式会社、日本製鉄株式会社、ハイケム株式会社、三菱商事株式会社は共同で、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の「カーボンリサイクル・次世代火力発電等技術開発／CO<sub>2</sub>排出削減・有効利用実用化技術開発／化学品へのCO<sub>2</sub>利用技術開発」に応募し、採択されました。

火力発電などから排出されるCO<sub>2</sub>の削減は重要な気候変動対策であり、CO<sub>2</sub>を資源として捉えて有効利用する「カーボンリサイクル技術」の開発も求められています。こうした中、NEDOは、既存の化石燃料由来化学品に代替することを目的とする化学品へのCO<sub>2</sub>利用技術の開発として、CO<sub>2</sub>を原料としポリエステル繊維などの原料となるパラキシレン製造に関する世界最先端の技術開発事業への取り組みを開始し、本学と民間5社はこの技術開発事業の委託先として採択されました。

本事業では、CO<sub>2</sub>からパラキシレンを製造するための画期的な触媒の改良、量産技術の開発やプロセス開発を実施するとともに、全体の経済性やCO<sub>2</sub>削減効果を含めた事業性検討を行い、実証段階への道筋を作ることを目指します。



## 富山大学の理念と目標

### 理念

富山大学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、生命科学、自然科学と人文社会科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、人間尊重の精神を基本に高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的発展に寄与する。

### 目標

#### I 教育 – 高い使命感と創造力のある人材の育成 –

富山大学は、学生の個性を尊重しつつ人格を陶冶するとともに、広い知識と深い専門的学識を教授することにより、「高い使命感と創造力のある人材を育成する総合大学」を目指す。

1. 学生の主体的な学びを促し、多様な学習ニーズに応え、教育の質を保証するために、教育環境の充実と教育システムの改善を図り、教員の教授能力のたゆまぬ向上に努める。
2. 学士課程では、教養教育と専門教育を充実し、新しい知識・情報・技術が重要性を増すグローバルな知識基盤社会に貢献できる、豊かな人間性と創造的問題解決能力を持つ人材を育成する。
3. 大学院課程では、体系的で高度な専門教育を充実し、21世紀の多様な課題に果敢に挑戦し解決できる人材を育成する。

#### II 研究 – 地域と世界に向けて先端的研究情報の発信 –

富山大学は、学問の継承発展と基礎的な研究を重視するとともに、現代社会の諸問題に積極的に取り組み、融合領域の研究を推進することにより、「地域と世界に向けて先端的研究情報を発信する総合大学」を目指す。

1. 真理を追究する基礎研究を尊び、学問の継承発展に努めるとともに、応用的な研究を推進する。
2. 先端的な研究環境を整備し、世界的な教育研究の拠点を構築する。
3. 世界水準のプロジェクト研究を推進するとともに、自由な発想に基づく萌芽的な研究を積極的に発掘し、その展開を支援する。
4. 地域の特徴を活かした研究を推進し、その成果を地域社会と国際社会の発展に還元する。

#### III 社会貢献 – 地域と国際社会への貢献 –

富山大学は、多様な分野からなる総合大学のスケールメリットを活かして、地域社会が抱える多様な問題及び地域を越えたグローバルな課題に取り組むことにより、「地域と国際社会に貢献する総合大学」を目指す。

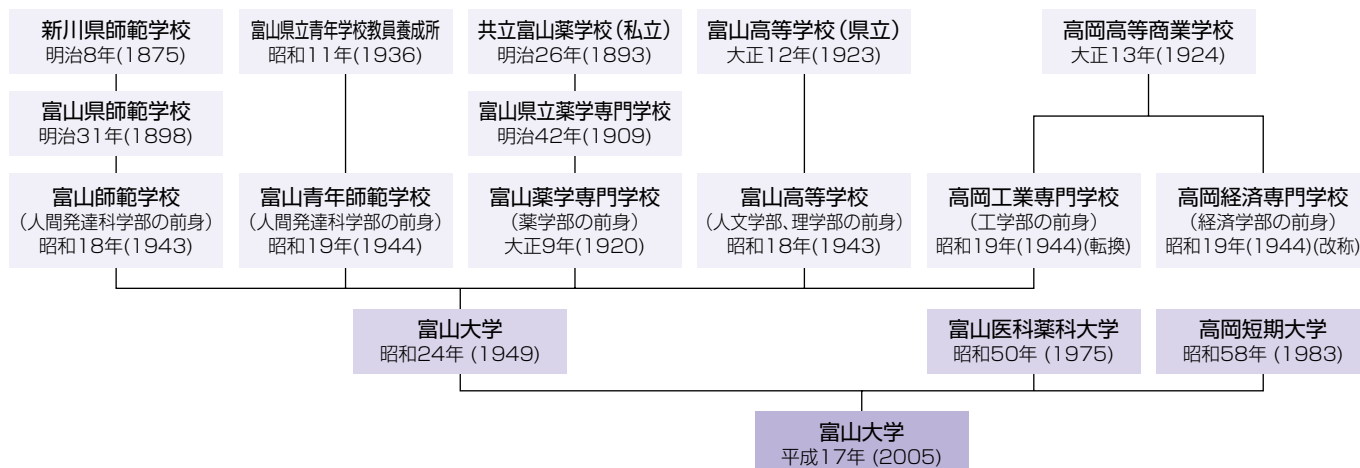
1. 地域社会の教育と文化の発展に寄与するとともに、地域再生への先導的役割を果たす。
2. 産業集積地帯である地域の特性を活かし、産学官連携を通じて地域産業の活性化を促進する。
3. 地域の中核的医療機関としての大学附属病院は、専門性と総合性を合わせ持つ質の高い医療を提供するとともに、将来の地域医療における質の高度化の牽引役を担う。
4. 大学間交流や国際貢献を推進するとともに、現代社会の重要課題に取り組む。

#### IV 運営 – 透明性の高い大学運営 –

富山大学は、教育、研究、社会貢献を積極的に推進するため、「大学運営において高い透明性を持つ、社会に開かれた総合大学」を目指す。

1. 国民から負託された国立大学法人であるとの明確な認識のもとに、透明性の高い効率的な大学運営を行い、社会に対する説明責任を果たす。
2. 組織と構成員は自己点検と自己評価に努め、時代や社会の要請に対応して、改革と改善を果敢に推進する。
3. 学内外の意見と評価を大学運営に反映し、大学の人材、資金、設備等の資源を最も有効に活用する。
4. 個人情報保護に努め、情報公開や環境問題に積極的に取り組むとともに、構成員全てが持てる力を十分に発揮できる職場環境を構築する。

## 沿革



## 再編・統合前

富山大学	
昭和24年(1949)	国立学校設置法により富山大学発足(文理学部、教育学部、薬学部、工学部)
昭和28年(1953)	経済学部設置(文理学部より独立)
昭和34年(1959)	経営短期大学部併設
昭和38年(1963)	大学院薬学研究科設置
昭和40年(1965)	放射性同位元素総合実験室設置
昭和42年(1967)	大学院工学研究科設置 教養部設置(文理学部を改組)
昭和49年(1974)	和漢薬研究所設置
昭和50年(1975)	保健管理センター設置
昭和52年(1977)	人文学部、理学部設置(文理学部を改組)
昭和53年(1978)	大学院理学研究科設置
昭和56年(1981)	自然観察実習センター設置
昭和61年(1986)	大学院人文科学研究科設置
昭和62年(1987)	地域共同研究センター設置
平成2年(1990)	経営短期大学部廃止
平成3年(1991)	大学院経済学研究科設置
平成5年(1993)	教養部廃止
平成6年(1994)	大学院教育学研究科設置
平成8年(1996)	生涯学習教育研究センター設置
平成10年(1998)	大学院工学研究科を大学院理工学研究科に改称(大学院理学研究科を廃止)
平成11年(1999)	留学生センター設置 水素同位体科学研究センター設置 水質保全センター設置
平成12年(2000)	機器分析センター設置
平成13年(2001)	極東地域研究センター設置 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー設置
平成15年(2003)	総合情報基盤センター設置 極低温量子科学研究センター設置
平成16年(2004)	国立大学法人法の規定により国立大学法人となる

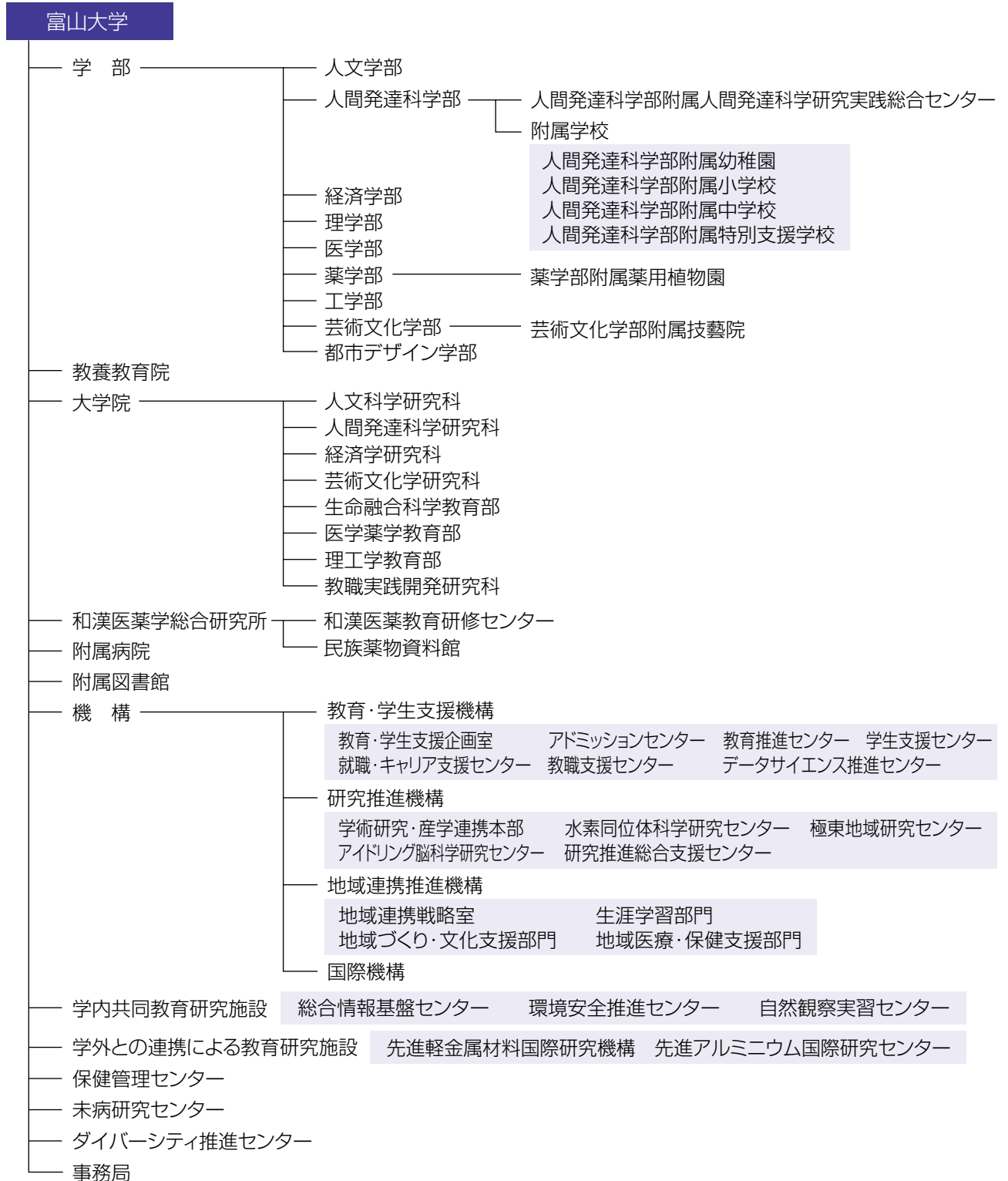
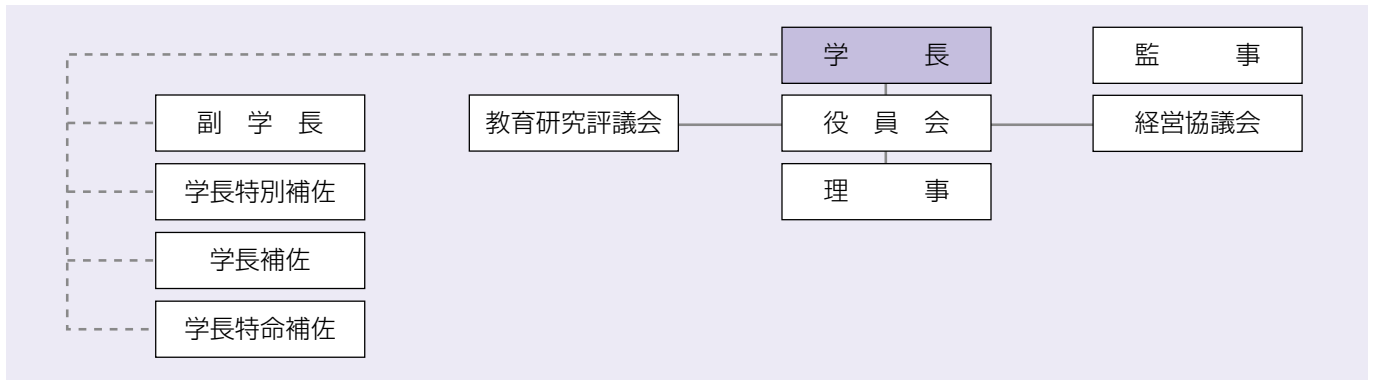
富山医科薬科大学	
昭和50年(1975)	富山医科薬科大学開学 医学部設置
昭和51年(1976)	薬学部設置(富山大学より移行)
昭和53年(1978)	和漢薬研究所設置(富山大学より移行)、 大学院薬学研究科設置、放射性同位元素実験施設設置
昭和54年(1979)	附属病院設置
昭和56年(1981)	動物実験センター設置
昭和57年(1982)	大学院医学研究科設置
昭和58年(1983)	保健管理センター設置
昭和59年(1984)	実験実習機器センター設置
平成7年(1995)	遺伝子実験施設設置
平成9年(1997)	大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称
平成14年(2002)	生命科学実験センター設置 (動物実験センター、遺伝子実験施設及び放射性同位元素実験施設を改組)
平成16年(2004)	国立大学法人法の規定により国立大学法人となる
平成17年(2005)	生命科学先端研究センター設置 (生命科学実験センター及び実験実習機器センターを改組)

高岡短期大学	
昭和58年(1983)	高岡短期大学開学(産業工芸学科、産業情報学科)
昭和61年(1986)	短期大学開放センター設置
昭和63年(1988)	専攻科地域産業専攻(1年制、1専攻)設置
平成7年(1995)	専攻科を2年制、3専攻に再編改組
平成12年(2000)	学科を産業造形学科、産業デザイン学科、 地域ビジネス学科の3学科に再編改組
平成13年(2001)	保健管理センター設置
平成16年(2004)	国立大学法人法の規定により国立大学法人となる

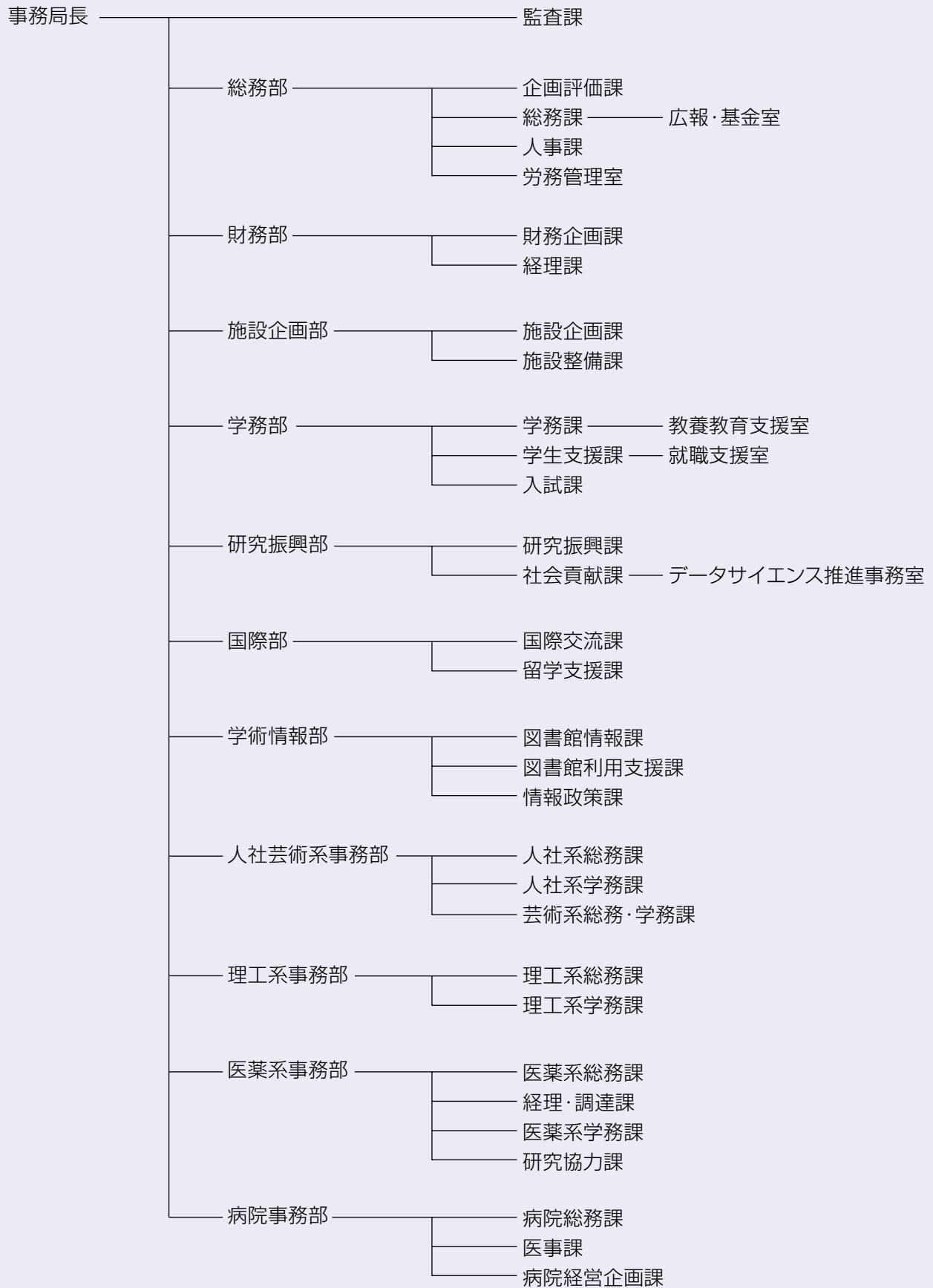
## 再編・統合後

富山大学	
平成17年(2005)	富山大学、富山医科薬科大学及び高岡短期大学を再編・統合し、富山大学となる 芸術文化学部設置 人間発達科学部設置(教育学部を改組) 和漢医薬学総合研究所設置(和漢薬研究所を改組) 学生支援センター、キャリアサポートセンター、アドミッションセンター、地域医療支援センター、地域づくり・文化支援センター設置
平成18年(2006)	大学院生命融合科学教育部、大学院医学薬学教育部、大学院理工学教育部設置(大学院医学系研究科、大学院薬学研究科、大学院理工学研究科を統合・改組)
平成19年(2007)	知的財産本部設置
平成20年(2008)	地域連携推進機構設置 (地域共同研究センター、生涯学習教育研究センター、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー、地域医療支援センター、地域づくり・文化支援センター、知的財産本部を統合・改組)
平成21年(2009)	臨床倫理センター設置
平成22年(2010)	高岡短期大学部廃止 自然科学研究支援センター設置(機器分析センター、放射性同位元素総合実験室、極低温量子科学研究センターを統合・改組) 大学教育支援センター設置
平成23年(2011)	大学院芸術文化学研究科設置 大学院人間発達科学研究科設置(大学院教育学研究科を改組)
平成24年(2012)	臨床倫理センターを臨床研究・倫理センターに改称
平成25年(2013)	国際交流センター設置(留学生センターを改組)
平成26年(2014)	環境安全推進センター設置(水質保全センターを改組)
平成27年(2015)	教育・学生支援機構設置(学生支援センター、キャリアサポートセンター、アドミッションセンター、大学教育支援センターを改組) 研究推進機構設置(水素同位体科学研究センター、自然科学研究支援センター、極東地域研究センター、生命科学先端研究センターを改組)
平成28年(2016)	教養教育院設置 大学院教職実践開発研究科設置 附属病院臨床研究管理センター設置(附属病院臨床研究推進センター、臨床研究・倫理センターを統合・改組)
平成30年(2018)	都市デザイン学部設置、国際機構設置(国際交流センターを改組)
令和元年(2019)	教員組織と教育組織分離の全学的実施 大学の数理及びデータサイエンスの全国展開事業(協力校)採択
令和2年(2020)	芸術文化学部附属技藝院(文化財保存・新造形技術研究センター)設置 データサイエンス推進センター設置 アイドリング脳科学研究センター設置 先進アルミニウム国際研究センター設置 未病研究センター設置 ダイバーシティ推進センター設置
令和3年(2021)	先進軽金属材料国際研究機構設置

# 組織図







# 役員

## 役員

学長	齋藤 滋
理事、副学長	井上 将彦
理事、副学長	北島 勲
理事、副学長	池田 真行
理事、副学長	磯部 祐子
理事、副学長	武山 良三
理事、事務局長	下敷 領強
理事(非常勤)	高木 繁雄
監事	長津 輝彦
監事(非常勤)	宮林 紀子

## 副学長・学長補佐

副学長	林 篤志
副学長	中村 和之
副学長	中川 大
副学長	細谷 健一
学長特別補佐(非常勤)	水野 正明
学長特別補佐(非常勤)	杉田 修
学長特別補佐(非常勤)	天野 学
学長補佐	鳥海 清司
学長補佐	柴柳 敏哉
学長補佐	豊岡 尚樹
学長補佐	小野 直子
学長補佐(非常勤)	門脇 真
学長特命補佐(非常勤)	高津 聖志
学長特命補佐(非常勤)	村上 哲
学長特命補佐(非常勤)	大寺 克昌

## 経営協議会

学長	齋藤 滋
理事、副学長	井上 将彦
理事、副学長	北島 勲
理事、副学長	磯部 祐子
理事、副学長	武山 良三
理事、事務局長	下敷 領強

附属病院長	林 篤志
富山県立大学名誉教授	石塚 勝
救急薬品工業(株)代表取締役社長	稲田 裕彦
玉川大学芸術学部元教授	大西 珠枝
富山県教育長	荻布 佳子
(株)北日本新聞社顧問	河合 隆
北陸電力(株)代表取締役会長 北陸経済連合会会長	久和 進
富山県副知事	蔵堀 祐一
金沢大学名誉教授	林 勇二郎

## 教育研究評議会

学長	齋藤 滋
理事、副学長	井上 将彦
理事、副学長	北島 勲
理事、副学長	池田 真行
理事、副学長	磯部 祐子
理事、副学長	武山 良三
理事、事務局長	下敷 領強
理事(非常勤)	高木 繁雄
副学長、附属病院長	林 篤志
副学長	中村 和之
副学長	中川 大
副学長	細谷 健一
大学院生命融合科学教育部長	井川 善也
大学院医学薬学教育部長、薬学部長、薬学・和漢系長	酒井 秀紀
大学院理工学教育部長、理学部長、理学系長	若杉 達也
大学院教職実践開発研究科長	成瀬 喜則
人文学部長、人文科学系長	黒田 廉
人間発達科学部長、教育学系長	徳橋 曜
経済学部長、社会科学系長	森口 毅彦
医学部長、医学系長	関根 道和
工学部長、工学系長	會澤 宣一
芸術文化学部長、芸術文化学系長	長柄 毅一
都市デザイン学部長、都市デザイン学系長	渡邊 了
和漢医薬学総合研究所長	早川 芳弘

人文科学系	大西 宏治
教育学系	笹田 茂樹
社会科学系	小柳津 英知
理学系	菊池 万里
医学系	一條 裕之
薬学・和漢系	水口 峰之
工学系	小熊 規泰
芸術文化学系	大氏 正嗣
都市デザイン学系	堀田 裕弘
教養教育学系	名執 基樹
教育研究推進系	松井 祥子
附属病院	戸邊 一之

## 学部

### 人文学部

人文学部長	黒田 廉
-------	------

### 人間発達科学部

人間発達科学部長	徳橋 曜
附属人間発達科学研究実践総合センター長	上山 輝
附属幼稚園長	黒田 卓
附属小学校長	片岡 弘
附属中学校長	内藤 亮一
附属特別支援学校長	佐藤 徳

### 経済学部

経済学部長	森口 毅彦
-------	-------

### 理学部

理学部長	若杉 達也
------	-------

### 医学部

医学部長	関根 道和
------	-------

### 薬学部

薬学部長	酒井 秀紀
附属薬用植物園長	田浦 太志

**工学部**

工学部長 會澤 宣一

**芸術文化学部**

芸術文化学部長 長柄 毅一

附属技藝院長  
(文化財保存・新造形技術研究センター) 林 暁**都市デザイン学部**

都市デザイン学部長 渡邊 了

**教養教育院**

教養教育院長 武山 良三

**大学院****人文科学研究科**

人文科学研究科長 黒田 廉

**人間発達科学研究科**

人間発達科学研究科長 徳橋 曜

**経済学研究科**

経済学研究科長 森口 毅彦

**芸術文化学研究科**

芸術文化学研究科長 長柄 毅一

**生命融合科学教育部**

生命融合科学教育部長 井川 善也

**医学薬学教育部**

医学薬学教育部長 酒井 秀紀

**理工学教育部**

理工学教育部長 若杉 達也

**教職実践開発研究科**

教職実践開発研究科長 成瀬 喜則

**和漢医薬学総合研究所**

和漢医薬学総合研究所長 早川 芳弘

附属和漢医薬教育研修センター長 柴原 直利

附属民族薬物資料館長 森田 洋行

**附属病院**

附属病院長 林 篤志

**附属図書館**

附属図書館長 細谷 健一

**機構****教育・学生支援機構**

教育・学生支援機構長 磯部 祐子

教育・学生支援企画室長 磯部 祐子

アドミッションセンター長 磯部 祐子

教育推進センター長 磯部 祐子

学生支援センター長 中村 和之

就職・キャリア支援センター長 中村 和之

教職支援センター長 鳥海 清司

データサイエンス推進センター長 栗本 猛

**研究推進機構**

研究推進機構長 北島 勲

学術研究・産学連携本部長 阿部 仁

水素同位体科学研究センター長 阿部 孝之

極東地域研究センター長 和田 直也

アイトリング脳科学研究  
センター長 井ノ口 馨

研究推進総合支援センター長 阿部 仁

**地域連携推進機構**

地域連携推進機構長 武山 良三

地域連携戦略室長 岸本 壽生

生涯学習部門長 矢口 忠憲

地域づくり・文化支援部門長 安嶋 是晴

地域医療・保健支援部門長 田村 須賀子

**国際機構**

国際機構長 池田 真行

グローバルフロント長 木村 裕三

交流部門長 吉川 朋子

教育部門長

田中 信之

**学内共同教育研究施設****総合情報基盤センター**

総合情報基盤センター長 栗本 猛

**環境安全推進センター**

環境安全推進センター長 加賀谷 重浩

**自然観察実習センター**

自然観察実習センター長 高橋 満彦

**学外との連携による教育研究施設**

先進軽金属材料国際研究機構長 河村 能人

先進アルミニウム国際研究センター長 柴柳 敏哉

**保健管理センター**

保健管理センター長 松井 祥子

**未病研究センター**

未病研究センター長 齋藤 滋

**ダイバーシティ推進センター**

ダイバーシティ推進センター長 小野 直子

**事務局**

事務局長 下敷 領強

総務部長 齊藤 大輔

財務部長 大宮 一弘

施設企画部長 戸島 準一郎

学務部長 中三川 敏之

研究振興部長 松井 一澄

国際部長 角田 賢次

学術情報部長 前川 敦子

人社芸術系事務部長 寺林 忠男

理工系事務部長 前田 等

医薬系事務部長 岩城 稔

病院事務部長 川崎 宏

## 学部・教養教育院

### 人文学部



思想・文化・歴史・言語・社会・心理・文学などに対する多様なアプローチで、人間への理解を深める知的探求の場です。1学科9コースのもとに23の多彩な教育研究分野があり、人間や社会に対する幅広い視野と洞察力、豊かな国際感覚を身につけることができます。日本・中国・ロシア及び朝鮮半島の諸地域について学べるのも本学部の特色です。



▲ 下:現在の人文学部 上:旧制富山高等学校(本学部の前身)

### 人間発達科学部



「発達教育学科」と「人間環境システム学科」の2学科6コースを設けて、学校教員の養成にとどまらず、生涯教育時代にふさわしい教育人材を育てる先進的な教育カリキュラムを提供します。学校教育・生涯教育・社会教育から企業内教育まで、広義の教育の場面で活躍できる持続可能な自己教育力を持った人材の育成を目指しています。



### 経済学部



経済、経営、法律を横断的に学べる社会科学系総合学部です。昼間主コースには7つの履修コースがあり、将来の職業を意識しながら、明確な目的意識を持って学ぶことができます。また、働きながら学ぶ社会人等を対象とした夜間主コースも設けられ、多様な学生が学んでいることも特徴です。企業のトップをはじめ、社会で活躍中の実務家による特殊講義も数多く用意されています。



### 理学部



自然界を律する基本的な原理や法則の探求を使命とする学部です。最先端の研究を通じて、専門知識と問題解決能力を持った人材の育成を目指しています。また、広い視野から問題解決にあたる応用力を育成するため、専攻分野以外の専門基礎分野の履修が必要なカリキュラムとしています。更に、外国人教師による科学英語の講義やeラーニングなど、時代のニーズに応える教育システムの構築にも力を注いでいます。



### 工学部



近年の社会の変革と急激な技術の革新に合わせて、工学教育も多様化、個性化、専門化へと進んでいます。また、工学倫理や生命倫理に基づき、地域社会や国際社会に貢献できる人が強く求められています。これらの観点から、工学部では、広く深い教養と専門的知識の修得はもとより、それらを諸課題に応用できる独創性教育、地球や人間に優しい環境教育、国際社会に対応できる語学や情報教育を重視し、豊かな人間性をもった優秀な研究者・技術者を育成しています。





## 都市デザイン学部



都市デザイン学部では、「地球科学」、「都市と交通」、「材料工学」の専門知識を融合させ、安全・安心な都市の創出と、地域創生が可能な人材の育成を目指します。高低差4000mという壮大で美しい自然を有し、海外にも知られる国内トップレベルの先進的な都市づくりを推進している富山を実践フィールドとして、都市デザインに必要な知識と技術を習得していきます。



## 医学部



東西医薬学の融合を理念に、慈愛の精神にあふれ高い技術をそなえた医療人の育成を目指しています。医学科と看護学科の2学科があり、同じキャンパス内の薬学部とも緊密に連携を図っています。医学科専門課程では臓器別の統合的カリキュラムと少人数問題解決型の教育を導入しています。看護学科では科学と人間性の調和を重視した教育を行い、卒業生は就職先の病院からも高い評価を受けています。



## 薬学部



薬学部は、薬剤師養成の6年制課程と創薬研究者養成の4年制課程を併設し、一世紀以上の伝統を有する学部です。最新の薬学から伝統医薬まで幅広く学べる大きな特長で、薬都ならではの特色ある研究教育は高い評価を受けています。医学部、附属病院、和漢医薬学総合研究所が同じキャンパス内にあるメリットを生かし、薬剤師と研究者の双方を育成しています。



## 芸術文化学部



芸術文化学部は1学科4コース制。芸術文化に対する感性と幅広い分野の知識・技術を活用し、人間と自然や社会との関わりを見つめ、そこに存在する数々の問題を発見し、解決しようと自発的に行動する意欲的な人材の育成を目的としています。各コースの専門領域教育を行う一方で、社会環境の変化や地域からの多様なニーズに柔軟に対応できるよう、幅広い教養が身につくカリキュラムと独自の履修システムによる融合教育を行っています。



## 教養教育院



教養教育院では、学修の基礎となる幅広い知性・知恵・実践的能力の形成と市民的公共性・社会的公共性・本源的公共性を身に付けるため、多様な能力を養う全学共通の授業科目を提供します。キャンパスを越えた多様な学生の学び合いから、「組織や社会の一員として貢献する能力、他者と意思を疎通するコミュニケーション能力」の基盤を形成し、「高い使命感と創造力のある人材」を社会や産業界に輩出することを目指します。



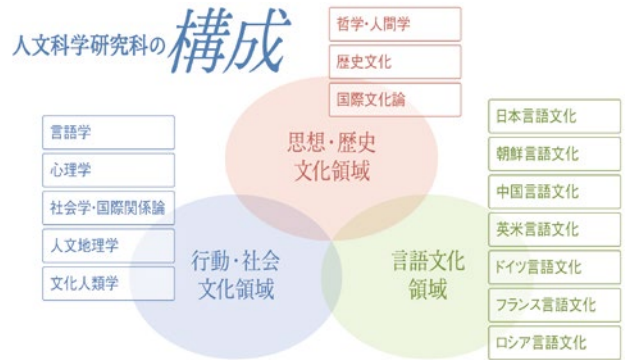
## 大学院

### 人文科学研究科



広くかつ深く身につけた高度の人文科学的教養を背景に、深い人間理解の能力を持ち、視野が広く見識に富み、様々な課題に対処できる高度専門職業人として、さらに21世紀を生きる倫理観を備えた創造性に富む市民として、地域に根ざしながらグローバル化時代を自立して生きていく能力を持つ社会人の育成を目指します。

1専攻15の研究分野を置き、多彩な専門性を持つ大学院です。日本・中国・ロシア及び朝鮮半島の諸地域について専門的に研究できるのも本研究科の特色です。



### 人間発達科学研究科



発達教育専攻と発達環境専攻の2専攻からなっており、地域社会における広義の教育の一翼を担うに足る、人間発達の支援・促進及び人間発達の環境条件の改善・充実に関する高度な専門的能力と高い指導性を備え、地域社会の持続的発展において主導的役割を果たし得る教育人材を養成しています。



### 経済学研究科



地域・経済政策専攻と企業経営専攻の2つの専攻があり、高度な専門知識を有する経済人の育成と経済学、経営学、法学の研究者の養成に取り組んでいます。経済社会の情報化、国際化などに対応できるように、経済学、経営学、法学という社会科学の主要な分野を広範囲に、かつ、学際的に教育・研究することができるという特徴を備えています。さまざまな分野における現実の諸問題を創意工夫して解決することを狙いとした実務的な授業科目を多くし、また、新しい専門領域を加味した現代的な授業科目を設けています。



### 芸術文化学研究科



総合芸術を基盤とした人間の文化活動全般を教育研究の対象とし、独自の表現法とその成果の社会的活用という観点から、多角的な研究手法による実践的研究を通じて、これからの社会において、学芸の深化を実現させる教育研究を通し、芸術の成果を活用して心豊かな地域文化を創生するために、先導的役割を担う人材を養成することによって社会の創造性を強化することを目的としています。





## 生命融合科学教育部



生命融合科学教育部では、脳神経系を中心とした生命システムの解明からヒトの健康維持・障害支援に関わる物質や機能材料及び情報・機械システムの開発までを視野に入れた先端的な知識と技術を教育し、これからの先端生命科学技術、高齢化福祉・高度医療、生命環境などの社会活動分野において、領域横断的に活躍できる人材を養成することを目的としています。医・薬・理・工という4つの大きな学系が生命科学に結集して教育にあたるのは我が国でも初の試みです。また、障害を持つ学生に開かれた大学院教育を目指し、障害者の視点と感性を導入・共有して新しいスタイルの教育・研究を展開します。



## 医学薬学教育部



医学、看護学及び薬学を総合した特色ある教育と研究を礎とし、幅広い知識を基盤とする高い専門性と人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力を培い、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる総合的な判断力を有する高度医療専門職業人又は教育研究者としての人材を育成することを目的としています。

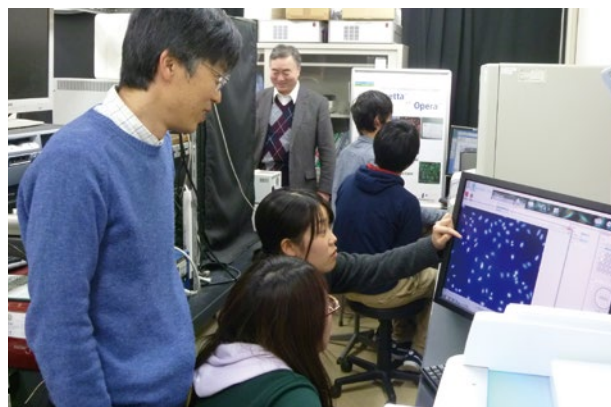


## 理工学教育部



修士課程においては、理学部、工学部の学科構成に対応した各分野における専門的知識と課題探求・課題解決能力を有する高度専門職業人となる人材を育成しています。

博士課程においては、理学及び工学分野の積極的融合により新たな学際領域、数理・ヒューマンシステム科学、ナノ新機能物質科学、新エネルギー科学及び地球生命環境科学の分野における科学・技術の高度化に対応でき、独創的な研究能力を有する研究者や地域産業の中核的担い手となる高度技術者を育成しています。



## 教職実践開発研究科



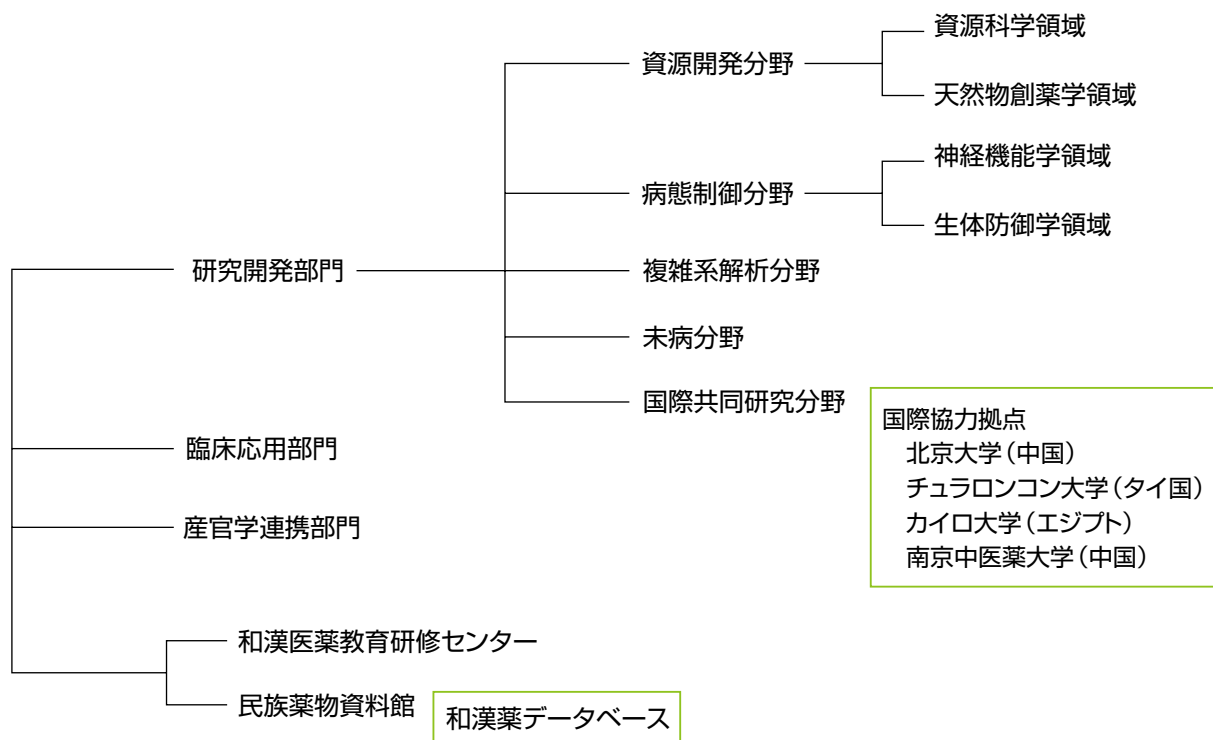
教職実践開発研究科は、富山大学と富山県教育委員会の強い連携・協働体制の下、学校現場が抱える今日的教育課題について深く理解し、高度な専門性と実践力、高い課題解決力を備えた、“チーム学校”の牽引役となるスクールリーダーの養成を目指します。



# 和漢医薬学総合研究所

伝統医学は人類が自然の摂理と天然の恵みを巧みに利用し、疾病の予防、治療にあたってきた経験知の集積です。和漢医薬学総合研究所は、現代の先端科学技術を駆使して、和漢薬をはじめとする伝統医学や伝統薬物を科学的に研究し、東洋医薬学と西洋医薬学の融合を図り、新しい医薬学体系の構築と自然環境の保全を含めた全人的医療の構築に貢献することを使命として、①天然薬物資源の確保と保全、②和漢医薬学の基礎研究の推進と東西医薬学の融合、③漢方医学における診断治療体系の客観化と人材の育成、④伝統医薬学研究の中核的情報発信拠点の形成の重点課題を設けて、研究を推進してきました。

近年、世界的に問題になっている高齢化の進行、多因子性疾患の増加、及び天然資源の枯渇に鑑み、本研究所は新たに重点研究プロジェクトを定め、推進し、その成果を社会実装するための組織へと2020年4月に改組しました。研究開発部門では5分野（資源開発、病態制御、複雑系解析、未病、国際共同研究）が連携し、特に臨床研究への橋渡しを目指した基礎研究や新規メカニズムに基づく創薬基盤の構築を目指した研究を行います。さらに、臨床応用、産官学連携の2部門では、附属病院や企業と協力して臨床試験や医薬品候補の発掘を推進します。加えて、漢方医学教育を実践できる教員の育成とその教育研修システムの確立を目的とした和漢医薬教育研修センターを立ち上げました。これらの3部門1センターが互いに連携し、東西医薬学の融合を基盤とした次世代型医療科学を創生して、健康長寿社会の形成に貢献することを目指します。



▲ 脈診



▲ 夏期セミナーでの丸剤づくりの実習の様子



▲ 民族薬物資料館見学の様子



# 附属病院

県内唯一の特定機能病院である附属病院は患者さんに高度医療・最善の医療を提供するとともに、便利で快適な医療環境を提供し、本院の特色でもある東洋と西洋の医療の融合とともに、臨床研究を推進しております。

富山県民から信頼される病院となるよう努力してまいります。

<p>病床数</p>	<p>612床</p> <p>一般病棟568床 (ICU 10床, NICU 12床, GCU 10床, HCU 14床, MFICU 3床, 小児入院医療管理病床28床)</p> <p>精神病床43床 感染症病床1床</p>																						
<p>診療科</p>	<p>第一内科診療部門, 第二内科診療部門, 第三内科診療部門, 血液内科, 和漢診療科, 脳神経内科(神経内科), 感染症科, 皮膚科診療部門, 小児科診療部門, 神経精神科, 放射線科診療部門, 第一外科診療部門, 第二外科診療部門, 脳神経外科診療部門, 整形外科, 産科婦人科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 泌尿器科診療部門, 形成再建外科・美容外科, 麻酔科, 歯科口腔外科(顎口腔外科・特殊歯科), 救急科, リハビリテーション科, 総合診療科</p> <p><b>各診療部門の内訳</b></p> <table border="1"> <tr> <td>第一内科診療部門</td> <td>糖尿病代謝・内分泌内科, リウマチ・膠原病内科, 呼吸器内科</td> </tr> <tr> <td>第二内科診療部門</td> <td>循環器内科, 腎・高血圧内科</td> </tr> <tr> <td>第三内科診療部門</td> <td>消化器内科</td> </tr> <tr> <td>皮膚科診療部門</td> <td>皮膚科, 小児皮膚科</td> </tr> <tr> <td>小児科診療部門</td> <td>小児総合内科, 小児循環器内科, 小児発達神経科</td> </tr> <tr> <td>放射線科診療部門</td> <td>放射線診断科, 放射線治療科</td> </tr> <tr> <td>第一外科診療部門</td> <td>心臓血管外科, 小児循環器外科, 呼吸器一般外科</td> </tr> <tr> <td>第二外科診療部門</td> <td>消化器外科, 乳腺科・内分泌外科, 小児外科</td> </tr> <tr> <td>脳神経外科診療部門</td> <td>脳神経外科, 脳血管内治療科, 小児神経外科</td> </tr> <tr> <td>眼科診療部門</td> <td>眼科, 小児眼科</td> </tr> <tr> <td>泌尿器科診療部門</td> <td>泌尿器科, 小児泌尿器科</td> </tr> </table>	第一内科診療部門	糖尿病代謝・内分泌内科, リウマチ・膠原病内科, 呼吸器内科	第二内科診療部門	循環器内科, 腎・高血圧内科	第三内科診療部門	消化器内科	皮膚科診療部門	皮膚科, 小児皮膚科	小児科診療部門	小児総合内科, 小児循環器内科, 小児発達神経科	放射線科診療部門	放射線診断科, 放射線治療科	第一外科診療部門	心臓血管外科, 小児循環器外科, 呼吸器一般外科	第二外科診療部門	消化器外科, 乳腺科・内分泌外科, 小児外科	脳神経外科診療部門	脳神経外科, 脳血管内治療科, 小児神経外科	眼科診療部門	眼科, 小児眼科	泌尿器科診療部門	泌尿器科, 小児泌尿器科
第一内科診療部門	糖尿病代謝・内分泌内科, リウマチ・膠原病内科, 呼吸器内科																						
第二内科診療部門	循環器内科, 腎・高血圧内科																						
第三内科診療部門	消化器内科																						
皮膚科診療部門	皮膚科, 小児皮膚科																						
小児科診療部門	小児総合内科, 小児循環器内科, 小児発達神経科																						
放射線科診療部門	放射線診断科, 放射線治療科																						
第一外科診療部門	心臓血管外科, 小児循環器外科, 呼吸器一般外科																						
第二外科診療部門	消化器外科, 乳腺科・内分泌外科, 小児外科																						
脳神経外科診療部門	脳神経外科, 脳血管内治療科, 小児神経外科																						
眼科診療部門	眼科, 小児眼科																						
泌尿器科診療部門	泌尿器科, 小児泌尿器科																						
<p>中央診療施設等</p>	<p>検査・輸血細胞治療部, 手術部, 放射線部, 材料部, 災害・救命センター, 集中治療部, 医療情報・経営戦略部, 光学医療診療部, 周産母子センター, 病理部, 遺伝子診療部, 循環器センター, 包括的脳卒中センター, 総合感染症センター, 膵臓・胆道センター, 糖尿病センター, 乳がん先端治療・乳房再建センター, ロボット手術センター, リハビリテーション部, 透析部, 医療福祉サポートセンター, 医療の質・安全推進部, 感染制御部, 医療機器管理センター, 栄養部, 臨床研修部, 臨床腫瘍部, 痛みセンター, 再生医療センター, がんゲノム医療推進センター, 看護師特定行為研修センター, 女性医師支援室, 地域医療再生センター, 地域医療総合支援センター, 医療AI開発室, 総合がんセンター, 薬剤部, 看護部, 臨床研究管理センター</p>																						



▲ 医学生や若手医師の教育にも力を注いでいます。



▲ 外来棟 外観



▲ ヘリポート

# 附属図書館

附属図書館には、中央図書館(五福キャンパス)、医薬学図書館(杉谷キャンパス)、芸術文化図書館(高岡キャンパス)の3つの図書館があります。



▲ 中央図書館



▲ 医薬学図書館



▲ 芸術文化図書館

## 特殊コレクション

### ・ヘルン文庫

ラフカディオ・ハーン Lafcadio Hearn (小泉八雲、1850~1904)の旧蔵書。洋書2,069冊、和漢書364冊及び「神國日本」の手書き原稿約1,200枚からなる。旧制富山高校の設立のため多大な寄附をした富山市東岩瀬の馬場はる氏から開校記念式典にお祝いとして寄贈されたもの。

### ・川合文書

藩政期に砺波郡戸出村(現高岡市戸出)に居住した十村(加賀藩における大庄屋の呼称)、川合家に伝来した文書で、藩政初期から明治に至るまでの農政等に関する記録、3,128点からなる。

### ・菊池文書

藩政期に砺波郡野尻村(現南砺市野尻)に居住した十村、菊池家に伝来した文書で、藩政初期から明治に至るまでの農政等に関する記録、2,130点からなる。

### ・鷹栖文庫

旧砺波郡鷹栖村(現砺波市鷹栖)の幕末以降昭和20年代に至る約100年間の村政文書類1,600点からなる。



▲ ヘルン文庫の蔵書棚

### 蔵書冊数

令和3年3月31日現在

区分	和書	洋書	合計
中央図書館	745,502	318,562	1,064,064
医薬学図書館	118,009	92,214	210,223
芸術文化図書館	58,352	13,558	71,910
合計	921,863	424,334	1,346,197

### 受入冊数

令和2年度

区分	和書	洋書	合計
中央図書館	5,510	912	6,422
医薬学図書館	1,532	144	1,676
芸術文化図書館	705	183	888
合計	7,747	1,239	8,986

### 雑誌所蔵種類数

令和3年3月31日現在

区分	和雑誌	洋雑誌	合計
中央図書館	12,789	4,788	17,577
医薬学図書館	2,223	2,205	4,428
芸術文化図書館	814	210	1,024
合計	15,826	7,203	23,029

### 雑誌受入種類数

令和2年度

区分	和雑誌	洋雑誌	合計
中央図書館	1,705	131	1,836
医薬学図書館	413	19	432
芸術文化図書館	89	30	119
合計	2,207	180	2,387

### 利用状況

令和2年度

区分	入館者数	貸出冊数			
		学生	教職員	学外者	合計
中央図書館	125,056	37,506	4,682	855	43,043
医薬学図書館	156,509	9,650	2,124	136	11,910
芸術文化図書館	8,446	5,835	619	156	6,610
合計	290,011	52,991	7,425	1,147	61,563

### 電子ジャーナル(利用可能タイトル数)

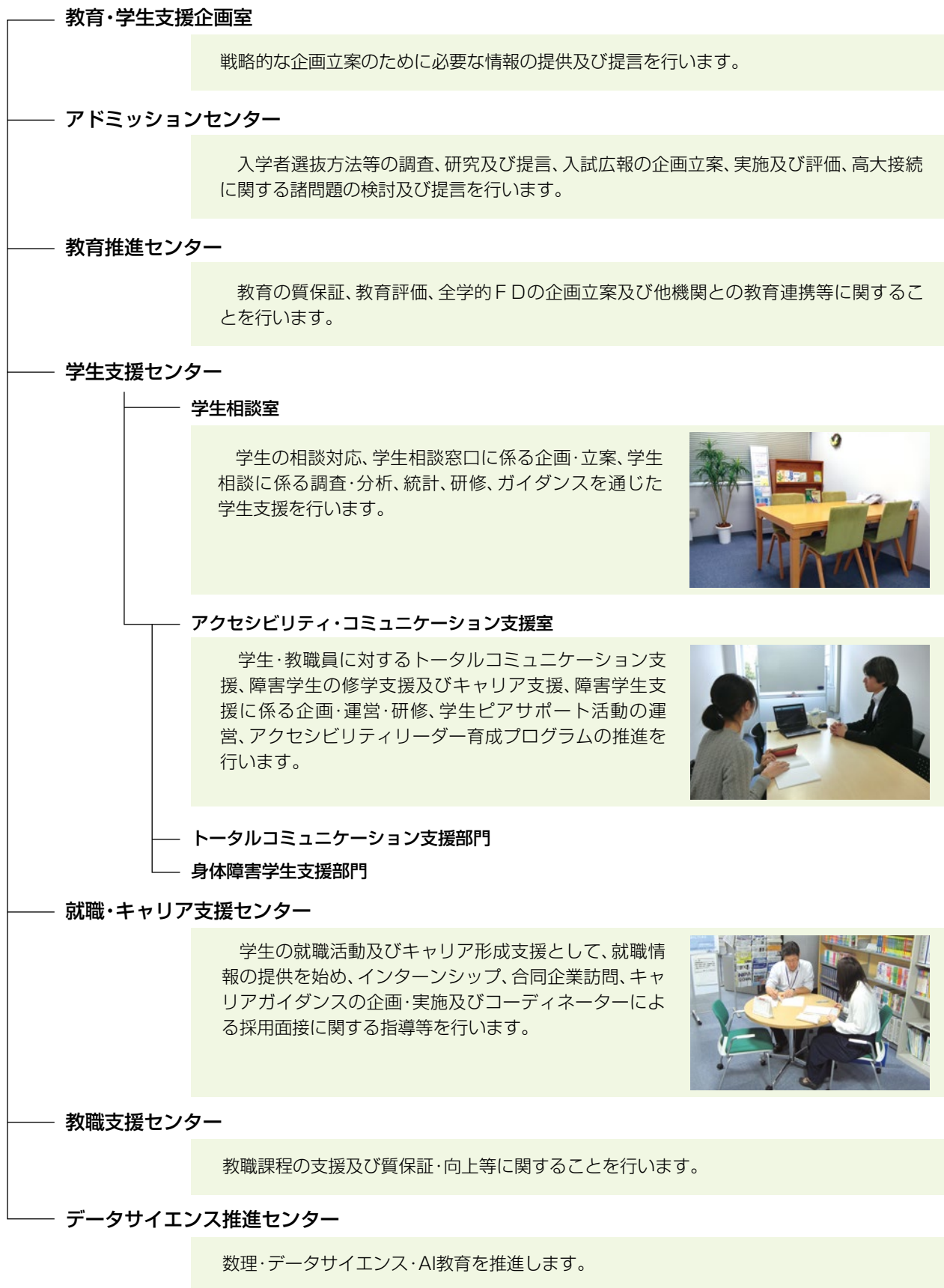
令和2年度

本学で利用可能なタイトル数(純タイトル数)	15,147
中央図書館	9,817
医薬学図書館	14,465
芸術文化図書館	9,135

# 教育・学生支援機構

本学の理念及び目標の実現に向け、アドミッションポリシーで求める人材の確保、教育の質保証及び学生の充実した修学・生活環境の構築を図るために必要な全学的な施策の推進、調整、支援を行い、もって人材の育成に寄与することを目的としています。

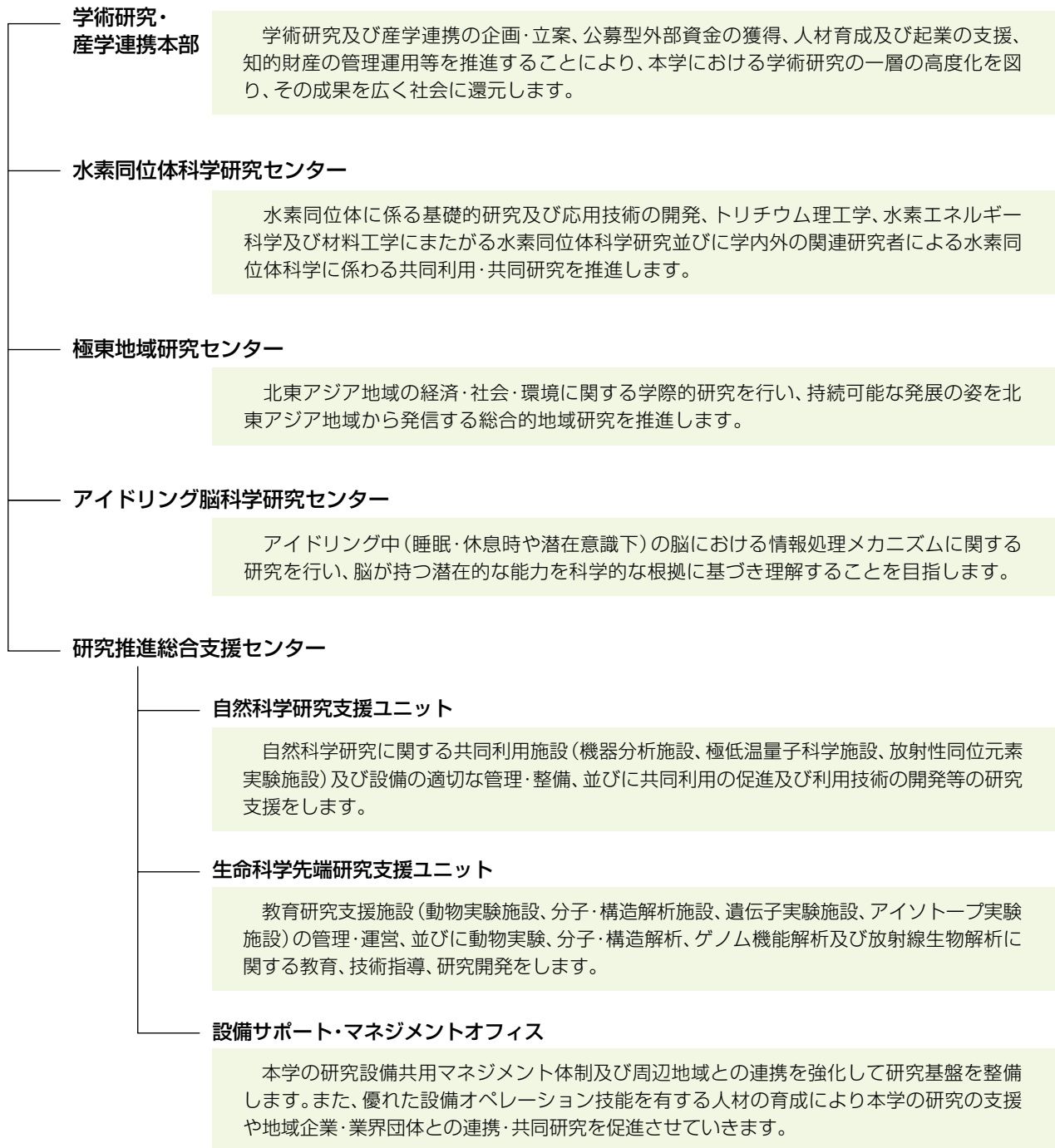
## 教育・学生支援機構



# 研究推進機構

本学における特色ある研究の推進と、多様な分野での研究の推進を支援するとともに、世界と地域に向けて研究成果を発信し、将来を担う人材を育成することを目的としています。

## 研究推進機構



## 富山市新産業支援センター

医薬バイオ、ナノテク、IT、環境など、今後成長が期待される新産業を育成することを目的に平成19年4月に富山市が富山大学工学部敷地内に設置しました。

センターでは、研究開発型ベンチャーや創業者、今後事業化を目指す企業等の皆様を支援するためのレンタルラボを設置し、また、多くの支援メニューを備えており、産学官連携・新事業分野への進出を推進しています。

（平成21年4月から、国立大学法人富山大学が指定管理者として管理運営業務を行っております。）





# 地域連携推進機構

地域社会の自律的発展に貢献するため、社会人教育による市民生活の充実、地域課題解決への先導的役割等を果たすとともに、地域社会と連携する中核拠点としての機能を果たすことを目的としています。

## 地域連携推進機構

### 地域連携戦略室

地域連携戦略の企画立案、地方公共団体や民間企業、各種団体と連携した地域振興への企画立案及びコーディネート等、本学の地域連携に関するシンクタンク機能を担います。



### 地域づくり・文化支援部門

高度差4,000mが育む地域資源を活用した課題解決や人材育成に取り組むとともに、伝統文化や芸術活動にもとづく豊かな地域文化を醸成するための支援を行うことで、地域づくりに貢献します。



▲地域の伝統産業をテーマとした特別公開フォーラム

### 生涯学習部門

富山大学の持つ様々な知識・技術を公開講座やオープン・クラス（正規授業の公開）などを通じて開放し、地域社会の学習環境を豊かにします。あらゆる世代が自然にキャンパスを闊歩する、そんな富山大学の学風を目指します。

富山大学の知的資源を開放することを通して、地域社会における生涯学習の振興と充実に寄与します。



▲サテライト講座

### 地域医療・保健支援部門

地域との連携を推進し、地域医療や地域保健に関する人材育成、調査、研究、情報発信を通じて、地域の保健・医療・福祉の向上に貢献します。



▲地域包括ケアシステムに関するセミナーの様子

# 国際機構

本学における国際化推進に係る事業を統括支援し、本学の国際化を推進することを目的としています。

## 国際機構

### グローバルフロント

本学の国際化推進に係る事業の企画・立案及び交流先・学内関係部局等との連携・調整を行い、多様な国際交流を柔軟に支援します。

### 交流部門

協定等の締結及び学生・研究者の派遣・受入等、学術交流を総合的に支援します。

### 教育部門

外国人留学生の受入後及び学生・教職員の派遣前に必要な語学教育を総合的に支援します。



# 国際交流会館

国際交流を促進するため、外国人留学生及び外国人研究者用として、国際交流会館が設置されています。



## 五福国際交流会館

区分	室名	床面積	留学生用	研究者用	計
居室	単身室	16m <sup>2</sup>	34	5	39
	夫婦室	39m <sup>2</sup>	5	2	7
	家族室	57m <sup>2</sup>	1	2	3
	計		40	9	49
共用関係	事務室、多目的室、ランドリー、トランクルーム				

## 杉谷国際交流会館

区分	室名	床面積	留学生用	研究者用	計
居室	単身室	19m <sup>2</sup>	18		18
	夫婦室	37m <sup>2</sup>	3		3
	家族室	53m <sup>2</sup>	4		4
	計		25		25
共用関係	事務室、研修室、図書室、ランドリー				

# 学内共同教育研究施設

名称	業務内容
総合情報基盤センター	<p>情報システムの運用管理、学内外の情報通信、情報システム資源及び情報共有、教育研究等の支援及び関連する研究開発を行っています。</p> 
環境安全推進センター	<p>環境配慮活動及び安全衛生の推進、薬品管理、排水管理、廃棄物管理、作業環境管理、作業管理及びその指導・助言を行っています。</p> 
自然観察実習センター	<p>野外教育(栽培・自然観察等)の実習及び本学の関連領域における教育・研究などの材料の育成管理・提供を行っています。実習または研究目的等で圃場等が利用できます。</p>

# 学外との連携による教育研究施設

## 先進軽金属材料国際研究機構 先進アルミニウム国際研究センター

アルミニウム材料に関する専門的で高度な教育・研究を行うセンターです。先進アルミニウム国際研究センターでは、都市デザイン学部材料デザイン工学科を始め、関係する学部との協力体制により、材料学の基礎学理から応用研究さらには社会実装研究に至る広範囲な科学と工学が学べます。また、先進軽金属国際研究機構の下、熊本大学先進マグネシウム国際研究センターと連携し、グローバルな共同教育を実施します。

連携大学(組織): 熊本大学先進マグネシウム国際研究センター

## 保健管理センター

学生・教職員の健康保持・増進と保健衛生に関する専門的業務を行う施設です。

保健管理センターには、専任教員（医療や相談を担当）や看護師のほか、カウンセラー等が配置され、健康診断や応急処置から相談事項（健康、精神的な悩み、対人関係など）まで対応します。また、各キャンパスでは、施設の一部を開放しており、各種計測器、トレーニング補助器具、リラクゼーション機器等を利用することができます。



▲ 血圧測定の様子



▲ 相談室（高岡キャンパス）



▲ 休憩コーナー（杉谷キャンパス）

## 未病研究センター

未病研究センターは東洋医学の概念である「未病」をALL富山大学で多分野の叡智を集め解き明かし、健康社会に向けた「超早期での疾患予測・予防の実現」を目的に設置されました。

これまで富山大学は、医学部、薬学部、附属病院及び和漢医薬学総合研究所が一体となって、21世紀COEプログラムなどを通して、東西医薬学の融合を実践して来ました。これは現在、複雑系数理学の導入による「未病」の科学的実証を目的とする「未病プロジェクト」に受け継がれています。研究のさらなる発展のため未病研究センターを設立し、以下の3点を中心に未病研究および未病医療を推進して、新たな医療システムを社会に提示し社会実装を目指します。

- ・現代医療ニーズにマッチした最先端の医療戦略（創薬・ヘルスケア、臨床検査・医工学、疫学）の構築
- ・薬部・富山発の健康政策（未病を治療する新しい医療の創出）の提言
- ・科学知への翻訳としての「未病学」の確立



## ダイバーシティ推進センター



Center for Diversity and Inclusion  
University of Toyama

富山大学  
ダイバーシティ推進センター

本学はSDGsの目標でもあるジェンダー平等をより一層推し進め、性別、性的指向と性自認（略称SOGI）、障害の有無、年齢、文化、宗教、信条、国籍などの多様性を尊重し、それぞれが自らの能力を発揮し、皆が生き生きと活躍できる教育・研究・職場環境づくりを進めています。

ダイバーシティ推進センターは、男女共同参画の推進とともに、ライフイベント（妊娠・出産・育児・介護等）やワーク・ライフ・バランスに配慮した様々な支援や啓発活動を行っています。



# 学部附属教育研究施設

## 人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター

教育実践に関する理論的・実践的研究及び指導を行っています。教師教育、教育相談、教材教具の開発、教員の資質を高める講演会の実施、研究紀要の発刊を行っています。



▲ 臨床と発達の心理学講座の様子

## 薬学部附属薬用植物園

薬用植物を栽培し、薬学関連の学術研究及び学生の教育に資することを目的として設けられています。薬学関連の研究・教育に携わる学外の方にも利用いただいているほか、年2回、一般の方にも公開しています。



▲ 薬用植物園内の温室

# 附属学校

附属学校は人間発達科学部附属幼稚園、人間発達科学部附属小学校、人間発達科学部附属中学校、人間発達科学部附属特別支援学校があります。

幼児の保育、義務教育として行われる普通教育又は知的障害に係る特別支援教育を施すとともに、人間発達科学部に附属する教育研究の機関として、学部における幼児、児童及び生徒の保育又は教育に関する研究に協力し、学部の計画に基づき学生の教育実習の実施に当たっています。また、教育の理論と実践についての先進的な研究に取り組み、その成果を公開しています。



令和3年4月1日現在

学部	区分		学級数	学級定員	収容定員
人間発達科学部	幼稚園	3歳児	1	20	20
		4歳児	2	35	70
		5歳児	2	35	70
	小学校	普通学級	12	35	420
	中学校	普通学級	12	40	480
	特別支援学校	小学部	3	6	18
		中学部	3	6	18
高等部		3	8	24	

# 役職員数

令和3年5月1日現在

## 役員数

区分	学長	理事	監事	合計
役員	1	7 [1]	2 [1]	10 [2]

・ [ ]内数字は、理事(非常勤)で内数。  
 ・ [ ]内数字は、監事(非常勤)で内数。

## 教職員数

区分	教授	准教授	講師	助教	助手	特命教員	附属学校教諭	事務系職員	技術系職員	医療系職員	合計
事務局								207 (6)	8 (1)		215
人社芸術系事務部								42	1 (1)		43
理工系事務部								24	21		45
医薬系事務部								63	16		79
病院事務部								52			52
人文科学系	29	17	5			1					52
教育学系	28	23	9								60
附属学校							76				76
社会科学系	32 [1]	18	5		5						60 [1]
芸術文化学系	12	13	11	2		1					39
教養教育学系	10	11	1	2							24
医学系	51 [3]	37 [1]	31	116 [2]	2	34 (3)					271 [6]
薬学・和漢系	25 [1]	19	1	26 [1]		1					72 [2]
理学系	25	18	7	9		1					60
工学系	35 [1]	25	9	17 [1]	2	4					92 [2]
都市デザイン学系	28	15		6		1 (1)					50
附属病院	5 [5]	1 [1]	1 [1]	6 [6]				2	16 (16)	906 (743)	937 [13]
教育・学生支援機構						2					2
研究推進機構	7	4	2	4		1		1	14		33
地域連携推進機構	1	1	1			1					4
国際機構	1	2	1								4
総合情報基盤センター	1	3	2								6
環境安全推進センター		1									1
保健管理センター	1	2	1							4 (4)	8
未病研究センター						1					1
合計	291 [11]	210 [2]	87 [1]	188 [10]	9	48 (4)	76	391 (6)	76 (18)	910 (747)	2,286 [24]

- ・ [ ]内数字は、寄附講座教員・共同研究講座教員で内数。※医学部所属⇒医学系、薬学部所属⇒薬学・和漢系、工学部所属⇒工学系へ分類。
- ・「特命教員」欄の( )内数字は特別研究教授で内数。
- ・「事務系職員」欄の( )内数字は参与及び参事で内数。
- ・「技術系職員」欄の( )内数字は技能職員で内数。
- ・「医療系職員」欄の( )内数字は看護師及び助産師で内数。
- ・「研究推進機構」欄に含まれる「教育研究推進系」教員：教授 1、准教授 1

# 学部学生の地域別入学状況

令和3年度

学部	地方	北海道	東北	関東	甲信越	北陸			東海	関西	中国	四国	九州・沖縄	その他	留学生	合計
						富山県	石川県	福井県								
人文学部		2	5	11	30	50	29	8	19	8	6	1	4	1	3	177
人間発達科学部		3	4	8	14	70	45	6	16	4	1	1	1	1	1	175
経済学部	昼間主コース	2	3	15	31	98	59	18	60	13	3	2	4	1	3	312
	夜間主コース	1	1	0	1	24	0	0	0	3	0	0	0	0	0	30
	計	3	4	15	32	122	59	18	60	16	3	2	4	1	3	342
理学部		2	5	26	28	38	26	7	51	11	2	0	4	3	1	204
医学部		0	5	37	26	55	14	2	26	17	1	0	2	0	0	185
薬学部		2	11	16	22	20	3	7	15	8	1	0	3	0	0	108
工学部		2	10	16	34	81	61	14	122	24	0	0	0	4	6	374
芸術文化学部		1	7	10	18	22	15	5	10	17	2	2	5	1	1	116
都市デザイン学部		2	2	18	15	24	21	4	40	18	1	1	3	0	2	151
合計		17	53	157	219	482	273	71	359	123	17	7	26	11	17	1,832
割合 (%)		0.9	2.9	8.6	12.0	26.3	14.9	3.9	19.6	6.7	0.9	0.4	1.4	0.6	0.9	100.0
						45.1										
						64.7										

※各地域の数字は出身高等学校の所在地別入学者数を表す  
 ※その他:「高等学校卒業程度認定試験合格者」、「外国の学校出身者」等

# 学科・専攻・取得できる学位

## 学部

学部	学科	取得できる学位
人文学部	人文学科	文学
人間発達科学部	発達教育学科	教育学
	人間環境システム学科	
経済学部	経済学科	経済学
	経営学科	経営学
	経営法学科	法学
理学部	数学科	理学
	物理学科	
	化学科	
	生物学科	
	地球科学科	
医学部	医学科	医学
	看護学科	看護学
薬学部	薬学科	薬学
	創薬科学科	薬科学
工学部	電気電子システム工学科	工学
	知能情報工学科	
	機械知能システム工学科	
	生命工学科	
	環境応用化学科	
	材料機能工学科	
	工学科	
芸術文化学部	芸術文化学科	芸術文化学
都市デザイン学部	地球システム科学科	理学
	都市・交通デザイン学科	工学
	材料デザイン工学科	工学



## 大学院

大学院	課程	専攻	取得できる学位	
人文科学研究科	修士課程	人文科学専攻	修士	文学
人間発達科学研究科	修士課程	発達教育専攻	修士	教育学
		発達環境専攻		
経済学研究科	修士課程	地域・経済政策専攻	修士	経済学
		企業経営専攻		経営学
芸術文化学研究科	修士課程	芸術文化学専攻	修士	芸術文化学
生命融合科学教育部	博士課程	認知・情動脳科学専攻	博士	医学
		生体情報システム科学専攻		薬科学
		先端ナノ・バイオ科学専攻		理学 工学
医学薬学教育部	修士課程	医科学専攻	修士	医科学
	博士前期課程	看護学専攻		看護学
		薬科学専攻		薬科学
	博士後期課程	看護学専攻	博士	看護学
		薬科学専攻		薬科学
	博士課程	生命・臨床医学専攻		医学
		東西統合医学専攻		
		薬学専攻	薬学	
	理工学教育部	修士課程	数学専攻	修士
物理学専攻				
化学専攻				
生物学専攻				
地球科学専攻				
生物圏環境科学専攻				
電気電子システム工学専攻				
知能情報工学専攻				
機械知能システム工学専攻				
生命工学専攻				
環境応用化学専攻				
材料機能工学専攻				
博士課程		数理・ヒューマンシステム科学専攻	博士	理学 工学
		ナノ新機能物質科学専攻		
		新工ネルギー科学専攻		
	地球生命環境科学専攻			
教職実践開発研究科	専門職学位課程	教職実践開発専攻	教職修士(専門職)	

# 学生の定員・現員

## 学部

単位:人

学部	学科	入学定員		収容定員	1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			6年次			合計		
					男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人文学部	人文学科	170	—	694	56	121	177	70	108	178	59	123	182	91	137	228	—	—	—	—	—	276	489	765	
	計	170	(7)※	694	56	121	177	70	108	178	59	123	182	91	137	228	—	—	—	—	—	276	489	765	
人間発達科学部	発達教育学科	80	—	320	19	66	85	23	61	84	22	60	82	25	64	89	—	—	—	—	—	89	251	340	
	人間環境システム学科	90	—	360	52	38	90	56	36	92	48	42	90	71	31	102	—	—	—	—	—	227	147	374	
	計	170	—	680	71	104	175	79	97	176	70	102	172	96	95	191	—	—	—	—	—	316	398	714	
経済学部	昼間主コース	経済学科	120	—	488	87	38	125	92	27	119	93	43	136	112	38	150	—	—	—	—	384	146	530	
		経営学科	100	—	408	53	48	101	58	48	106	59	43	102	67	47	114	—	—	—	—	237	186	423	
		経営法学科	85	—	344	59	27	86	39	46	85	44	38	82	53	48	101	—	—	—	—	195	159	354	
		小計	305	(10)※	1,240	199	113	312	189	121	310	196	124	320	232	133	365	—	—	—	—	816	491	1,307	
	夜間主コース	経済学科	10	—	40	8	2	10	6	6	12	7	3	10	15	2	17	—	—	—	—	36	13	49	
		経営学科	10	—	40	4	6	10	4	6	10	4	6	10	7	5	12	—	—	—	—	19	23	42	
		経営法学科	10	—	40	5	5	10	6	3	9	5	5	10	8	5	13	—	—	—	—	24	18	42	
		小計	30	—	120	17	13	30	16	15	31	16	14	30	30	12	42	—	—	—	—	79	54	133	
計	335	(10)※	1,360	216	126	342	205	136	341	212	138	350	262	145	407	—	—	—	—	895	545	1,440			
理学部	数学科	50	—	200	47	5	52	43	7	50	60	4	64	26	14	40	—	—	—	—	176	30	206		
	物理学科	40	—	162	40	5	45	41	1	42	45	8	53	35	7	42	—	—	—	—	161	21	182		
	化学科	35	—	142	29	8	37	22	15	37	29	20	49	24	8	32	—	—	—	—	104	51	155		
	生物学科	35	—	142	28	9	37	21	13	34	31	13	44	26	11	37	—	—	—	—	106	46	152		
	地球科学科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	4	5	0	5	—	—	—	—	8	1	9		
	生物圏環境科学科	30	—	122	23	10	33	21	9	30	22	15	37	15	16	31	—	—	—	—	81	50	131		
	計	190	(4)※	768	167	37	204	148	45	193	190	61	251	131	56	187	—	—	—	—	636	199	835		
医学部	医学科	105	(5)☆	655	68	46	114	53	52	105	71	39	110	75	43	118	85	29	114	69	35	104	421	244	665
	看護学科	80	(10)※	340	5	81	86	5	72	77	2	83	85	6	84	90	—	—	—	—	—	18	320	338	
	計	185	(5)☆ (10)※	995	73	127	200	58	124	182	73	122	195	81	127	208	85	29	114	69	35	104	439	564	1,003
薬学部	薬学科	55	—	330	33	27	60	24	30	54	30	35	65	29	28	57	30	33	63	25	25	50	171	178	349
	創薬科学科	50	—	200	38	19	57	35	19	54	32	21	53	30	15	45	—	—	—	—	—	135	74	209	
	計	105	—	530	71	46	117	59	49	108	62	56	118	59	43	102	30	33	63	25	25	50	306	252	558
工学部	電気電子システム工学科	—	—	—	—	—	—	2	0	2	4	0	4	6	0	6	—	—	—	—	12	0	12		
	知能情報工学科	—	—	—	—	—	—	0	0	0	5	1	6	4	0	4	—	—	—	—	9	1	10		
	機械知能システム工学科	—	—	—	—	—	—	0	0	0	1	0	1	14	0	14	—	—	—	—	15	0	15		
	生命工学科	—	—	—	—	—	—	2	0	2	1	1	2	1	0	1	—	—	—	—	4	1	5		
	環境応用化学科	—	—	—	—	—	—	1	0	1	4	0	4	3	1	4	—	—	—	—	8	1	9		
	材料機能工学科	—	—	—	—	—	—	1	0	1	1	0	1	4	0	4	—	—	—	—	6	0	6		
	工学科	365	—	1,494	317	57	374	364	58	422	321	52	373	282	47	329	—	—	—	—	1,284	214	1,498		
計	365	(17)※	1,494	317	57	374	370	58	428	337	54	391	314	48	362	—	—	—	—	1,338	217	1,555			
芸術文化学部	芸術文化学科	110	—	440	24	92	116	27	84	111	25	92	117	28	99	127	—	—	—	—	104	367	471		
	計	110	—	440	24	92	116	27	84	111	25	92	117	28	99	127	—	—	—	—	104	367	471		
都市デザイン学部	地球システム科学科	40	—	160	32	8	40	32	10	42	32	11	43	28	10	38	—	—	—	—	124	39	163		
	都市・交通デザイン学科	40	—	162	29	14	43	30	12	42	39	8	47	23	12	35	—	—	—	—	121	46	167		
	材料デザイン工学科	60	—	244	62	10	72	57	9	66	57	10	67	45	8	53	—	—	—	—	221	37	258		
	計	140	(3)※	566	123	32	155	119	31	150	128	29	157	96	30	126	—	—	—	—	466	122	588		
合計	1,770	(5)☆ (51)※	7,527	1,118	742	1,860	1,135	732	1,867	1,156	777	1,933	1,158	780	1,938	115	62	177	94	60	154	4,776	3,153	7,929	

(注)入学定員の( )※は、3年次編入学定員を外数で、( )☆は、医学科の2年次編入学定員を外数で示す。

## 大学院

単位:人

研究科等	課程	専攻	入学定員	収容定員	1年次			2年次			3年次			4年次			合計		
					男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人文科学研究科	修士課程	人文科学専攻	8	16	3	3	6	4	7	11	—			—			7	10	17
		計	8	16	3	3	6	4	7	11	—			—			7	10	17
人間発達科学研究科	修士課程	発達教育専攻	6	12	2	1	3	3	3	6	—			—			5	4	9
		発達環境専攻	6	12	2	4	6	5	5	10	—			—			7	9	16
		計	12	24	4	5	9	8	8	16	—			—			12	13	25
経済学研究科	修士課程	地域・経済政策専攻	6	12	4	2	6	5	2	7	—			—			9	4	13
		企業経営専攻	12	24	3	9	12	5	10	15	—			—			8	19	27
		計	18	36	7	11	18	10	12	22	—			—			17	23	40
芸術文化科学研究科	修士課程	芸術文化学専攻	8	16	5	6	11	4	4	8	—			—			9	10	19
		計	8	16	5	6	11	4	4	8	—			—			9	10	19
生命融合科学教育部	博士課程	認知・情動脳科学専攻	9	36	5	1	6	2	3	5	6	2	8	8	3	11	21	9	30
		生体情報システム科学専攻	4	12	1	0	1	2	0	2	4	0	4	—			7	0	7
		先端ナノ・バイオ科学専攻	4	12	0	1	1	0	1	1	2	0	2	—			2	2	4
		計	17	60	6	2	8	4	4	8	12	2	14	8	3	11	30	11	41
医学薬学教育部	修士課程	医科学専攻	15	30	3	1	4	3	0	3	—			—			6	1	7
		小計	15	30	3	1	4	3	0	3	—			—			6	1	7
	博士前期課程	看護学専攻	16	32	2	5	7	2	15	17	—			—			4	20	24
		薬科学専攻	35	70	28	15	43	36	16	52	—			—			64	31	95
		小計	51	102	30	20	50	38	31	69	—			—			68	51	119
	博士後期課程	看護学専攻	3	9	0	1	1	2	1	3	2	13	15	—			4	15	19
		薬科学専攻	8	24	5	6	11	6	2	8	8	8	16	—			19	16	35
		小計	11	33	5	7	12	8	3	11	10	21	31	—			23	31	54
	博士課程	生命・臨床医学専攻	18	72	9	4	13	12	7	19	18	4	22	25	6	31	64	21	85
		東西統合医学専攻	7	28	4	0	4	3	1	4	0	2	2	4	4	8	11	7	18
		薬学専攻	4	16	1	0	1	0	0	0	2	0	2	0	1	1	3	1	4
		小計	29	116	14	4	18	15	8	23	20	6	26	29	11	40	78	29	107
		計	106	281	52	32	84	64	42	106	30	27	57	29	11	40	175	112	287
理工学教育部	修士課程	数学専攻	8	16	10	0	10	5	0	5	—			—			15	0	15
		物理学専攻	12	24	11	2	13	7	1	8	—			—			18	3	21
		化学専攻	12	24	16	4	20	11	2	13	—			—			27	6	33
		生物学専攻	12	24	10	9	19	13	2	15	—			—			23	11	34
		地球科学専攻	10	20	10	1	11	8	1	9	—			—			18	2	20
		生物圏環境科学専攻	10	20	10	6	16	7	3	10	—			—			17	9	26
		電気電子システム工学専攻	33	66	43	1	44	34	1	35	—			—			77	2	79
		知能情報工学専攻	27	54	54	2	56	28	4	32	—			—			82	6	88
		機械知能システム工学専攻	33	66	46	2	48	47	5	52	—			—			93	7	100
		生命工学専攻	18	36	12	4	16	13	13	26	—			—			25	17	42
		環境応用化学専攻	22	44	20	4	24	21	2	23	—			—			41	6	47
	材料機能工学専攻	20	40	32	3	35	30	0	30	—			—			62	3	65	
		小計	217	434	274	38	312	224	34	258	—			—			498	72	570
	博士課程	数理・ヒューマンシステム科学専攻	5	15	5	4	9	7	4	11	5	3	8	—			17	11	28
		ナノ新機能物質科学専攻	4	12	10	0	10	6	0	6	8	3	11	—			24	3	27
		新エネルギー科学専攻	3	9	1	0	1	0	1	1	7	0	7	—			8	1	9
		地球生命環境科学専攻	4	12	3	2	5	1	1	2	7	3	10	—			11	6	17
		小計	16	48	19	6	25	14	6	20	27	9	36	—			60	21	81
		計	233	482	293	44	337	238	40	278	27	9	36	—			558	93	651
教職実践開発研究科	専門職学位課程	教職実践開発専攻	14	28	10	6	16	8	6	14	—			—			18	12	30
		計	14	28	10	6	16	8	6	14	—			—			18	12	30
大学院(2年制)小計			343	686	336	90	426	299	102	401	—			—			635	192	827
大学院(3年制)小計			35	105	25	14	39	24	10	34	43	30	73	—			92	54	146
大学院(4年制)小計			38	152	19	5	24	17	11	28	26	8	34	37	14	51	99	38	137
合計			416	943	380	109	489	340	123	463	69	38	107	37	14	51	826	284	1,110



# 外国人留学生数

令和3年5月1日現在

区 分	国 費			県 費			外国政府			私 費			合 計			
	正規生	非正規生	計	正規生	非正規生	計	正規生	非正規生	計	正規生	非正規生	計	正規生	非正規生	計	
学 部	人文学部		3	3				1		1	10	1	11	11	4	15
	人間発達科学部		2	2				1		1	4	4	8	5	6	11
	経済学部							2		2	6	5	11	8	5	13
	理学部										2		2	2		2
	医学部															
	薬学部															
	工学部							11		11	20	3	23	31	3	34
	芸術文化学部	3		3							2	1	3	5	1	6
	都市デザイン学部										9		9	9		9
	小 計	3	5	8	0	0	0	15	0	15	53	14	67	71	19	90
大学院修士課程・博士前期課程	人文科学研究科									7	1	8	7	1	8	
	人間発達科学研究科									6		6	6		6	
	経済学研究科									31		31	31		31	
	医学薬学教育部	1		1						10	3	13	11	3	14	
	理工学教育部(理学系)									6		6	6		6	
	理工学教育部(工学系)				2		2			33		33	35		35	
	芸術文化学研究科									4		4	4		4	
	小 計	1	0	1	2	0	2	0	0	0	97	4	101	100	4	104
大学院博士課程・博士後期課程	医学薬学教育部	3		3						32		32	35		35	
	生命融合科学教育部(五福)	3		3						1		1	4		4	
	生命融合科学教育部(杉谷)	2		2						13		13	15		15	
	理工学教育部(理学系)	1		1						6		6	7		7	
	理工学教育部(工学系)	2		2						37	2	39	39	2	41	
	小 計	11	0	11	0	0	0	0	0	0	89	2	91	100	2	102
国際機構			1	1										1	1	
合 計	15	6	21	2	0	2	15	0	15	239	20	259	271	26	297	

## 国・地域別外国人留学生数

国・地域名	種 別				計
	国 費	県 費	外国政府	私 費	
中国	2			191	193
ベトナム	2	1		29	32
マレーシア	1	1	15	5	22
パキスタン	1			6	7
インド				6	6
エジプト				6	6
韓国				5	5
Bangladesh	4			1	5
インドネシア	2			1	3
タイ	1			2	3
ミャンマー	1			2	3
ロシア	3				3
イラン				2	2

国・地域名	種 別				計
	国 費	県 費	外国政府	私 費	
英国	1				1
シンガポール				1	1
ネパール				1	1
バブアニューギニア	1				1
ブラジル	1				1
マダガスカル	1				1
ラオス				1	1
計	21	2	15	259	297

# 令和2年度卒業・修了者の進路状況

令和3年5月1日現在

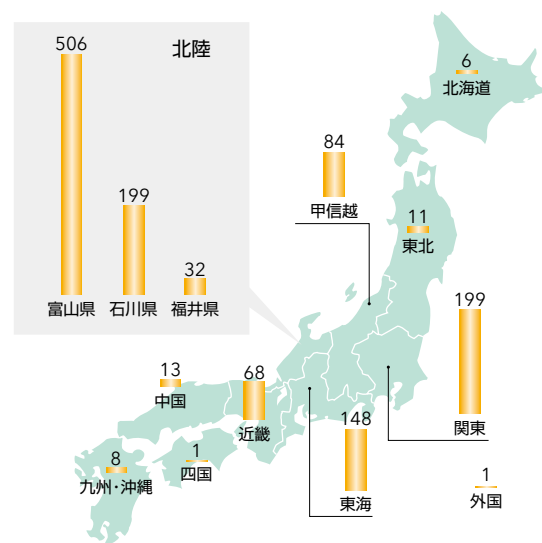
## 学部

学部	卒業者数	就職者数	進学者数		その他 (注2)
			大学院(注1)	その他	
人文学部	174	142	5 (2)	3	24
人間発達科学部	170	151	7 (4)	2	10
経済学部	411	364	0 (0)	3	44
理学部	218	105	96 (87)	1	16
医学部	193	184	4 (4)	4	1
薬学部	103	59	44 (40)	0	0
工学部	417	184	218 (206)	5	10
芸術文化学部	109	87	14 (10)	1	7
合計	1,795	1,276	388 (353)	19	112

(注1) ( )内の数字は、富山大学大学院への進学者で内数。  
(注2) その他欄には有職者を含む。

## 地域別就職状況(学部)

学部	地方				東海・北陸				近畿	中国	四国	九州・沖縄	外国	合計
	北海道	東北	関東	甲信越	富山県	石川県	福井県	東海						
人文学部	1	1	17	24	52	25	7	12	3					142
人間発達科学部			12	9	78	28	7	10	5	2				151
経済学部	1	3	62	21	133	63	8	51	14	5		3		364
理学部		1	19	4	39	18	2	15	5	2				105
医学部	1	2	27	12	94	15	3	11	15		1	3		184
薬学部	3		20	2	8	2	1	15	7			1		59
工学部			33	5	73	33	4	23	11	1			1	184
芸術文化学部		4	9	7	29	15		11	8	3		1		87
合計	6	11	199	84	506	199	32	148	68	13	1	8	1	1,276
割合(%)	0.5	0.9	15.6	6.6	39.7	15.6	2.5	11.6	5.3	1.0	0.1	0.6	0.1	100.0
					69.4									



## 業種別就職状況(学部)

業種	学 部			人文学部			人間発達科学部			経済学部			理学部			医学部			薬学部			工学部			芸術文化学部			合計			割合(%)			
	性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
農業、林業							1		1				1	1														1	2	3	0.2			
漁業																												0	0	0	0.0			
鉱業、採石業、砂利採取業																												0	0	0	0.0			
建設業		3	8	11	1	1	2	18	6	24	5	2	7									12	2	14	1	5	6	40	24	64	5.0			
製造業		2	17	19			5	5	37	23	60	11	7	18							2	4	6	75	21	96	3	13	16	130	90	220	17.2	
電気・ガス・熱供給・水道業									3	1	4												8	1	9			11	2	13	1.0			
情報通信業		5	5	10	4	3	7	28	21	49	12	9	21								1		1	32	5	37	1	5	6	83	48	131	10.3	
運輸業、郵便業		1	2	3	4	1	5	8	4	12	1	1	2													2	1	3	16	9	25	2.0		
卸売業、小売業		2	29	31	5	4	9	34	24	58	8		8								17	21	38	1	2	3	2	13	15	69	93	162	12.7	
金融業、保険業		1	8	9			7	7	16	16	32	3	2	5													2	1	3	1	23	34	57	4.5
不動産業、物品賃貸業			2	2	3	1	4	5	4	9	1		1													1	1	2	10	8	18	1.4		
学術研究、専門・技術サービス業		1	3	4			1	1	7	3	10	4	1	5							1	1	1	3	4	2	8	10	16	19	35	2.7		
宿泊業、飲食サービス業		1		1	1		1	2	1	3			1	1													2	2	4	4	8	0.6		
生活関連サービス業、娯楽業			3	3				3	2	5																1	1	1	1	4	6	10	0.8	
教育、学習支援業		3	9	12	20	38	60	3	2	5	10	7	17										1	1	1	8	9	38	64	102	8.0			
医療、福祉			1	1	1	12	11	1	3	4			1	1	70	108	178	3	6	9	1		1				1	1	76	132	208	16.3		
複合サービス事業			3	3				1	2	3	1		1														1	1	2	6	8	0.6		
サービス業		2	5	7	3	4	7	10	10	20	5		5								2	2	5	3	8	1	3	4	26	27	53	4.2		
公務		7	19	26	14	18	32	32	33	65	7	5	12				6	6	2				2	5	1	6	9	9	67	91	158	12.4		
その他																											1	1	0	1	1	0.1		
合計		28	114	142	56	95	151	209	155	364	68	37	105	70	114	184	26	33	59	144	40	184	15	72	87	616	660	1,276			100.0			

## 大学院(修士課程・博士前期課程・専門職学位課程)

研究科等	修了者数	就職者数	進学者数		その他 (注2)
			大学院(注1)	その他	
人文科学研究科	11	4	1 (1)	0	6
人間発達科学研究科	14	9	1 (1)	0	4
経済学研究科	12	3	0 (0)	0	9
芸術文化学研究科	8	1	0 (0)	0	7
医学薬学教育部	71	46	12 (11)	1	12
理工学教育部	269	243	14 (12)	0	12
教職実践開発研究科	12	2	0 (0)	0	10
合計	397	308	28 (25)	1	60

## 大学院(博士課程・博士後期課程)

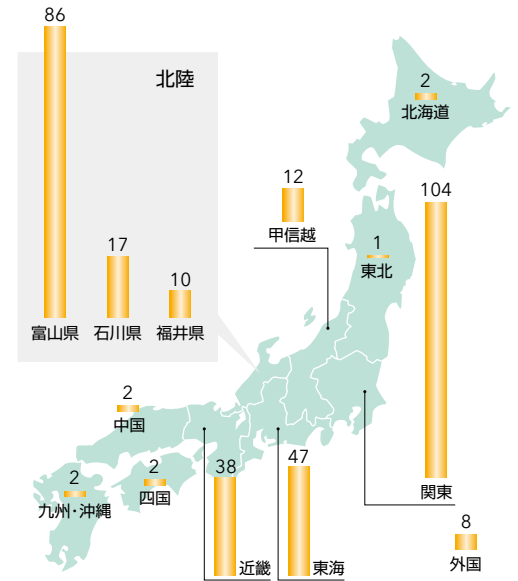
研究科等	修了者数	就職者数	進学者数		その他 (注2)
			大学院(注1)	その他	
生命融合科学教育部	9	7	0 (0)	0	2
医学薬学教育部	31	10	0 (0)	0	21
理工学教育部	10	6	0 (0)	0	4
合計	50	23	0 (0)	0	27

(注1) ( )内の数字は、富山大学大学院への進学者で内数。

(注2) その他欄には有職者を含む。

## 地域別就職状況(大学院)

研究科等	地方											合計		
	北海道	東北	関東	甲信越	東海・北陸				近畿	中国	四国		九州・沖縄	外国
					富山県	石川県	福井県	東海						
人文科学研究科					2	1							1	4
人間発達科学研究科			1		7			1						9
経済学研究科					2								1	3
芸術文化学研究科					1									1
医学薬学教育部			22	1	12	1		2	8					46
理工学教育部	2	1	76	11	53	15	9	42	29	2	2	1		243
教職実践開発研究科					2									2
生命融合科学教育部			2		3			1	1					7
医学薬学教育部			1		3		1	1				1	3	10
理工学教育部			2		1								3	6
合計	2	1	104	12	86	17	10	47	38	2	2	2	8	331
割合 (%)	0.6	0.3	31.4	3.6	26.0	5.1	3.0	14.2	11.5	0.6	0.6	0.6	2.4	100.0
					48.3									



## 業種別就職状況(大学院)

業種	研究科等	性別	修士課程・博士前期課程・専門職学位課程															博士課程・博士後期課程									合計	割合 (%)								
			人文科学研究科			人間発達科学研究科			経済学研究科			芸術文化学研究科			医学薬学教育部			理工学教育部			教職実践開発研究科			生命融合科学教育部					医学薬学教育部			理工学教育部				
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			男	女	計	男	女	計	男	女
農業、林業																														0	0	0	0.0			
漁業																														0	0	0	0.0			
鉱業、採石業、砂利採取業																														0	0	0	0.0			
建設業														4		1	5										4	1	5	1.5						
製造業						1		1	1	19	13	32	139	24	163													1	1	2	60.4					
電気・ガス・熱供給・水道業														8		8													8	0	8	2.4				
情報通信業			1	1	2	2		2	1	1	2			28	3	31							1		1	33	6	39	11.8							
運輸業、郵便業														2		2													2	0	2	0.6				
卸売業、小売業														1	1	2										1	1	2	0.9							
金融業、保険業																													0	0	0	0.0				
不動産業、物品賃貸業			1		1																					1	0	1	0.3							
学術研究、専門・技術サービス業												2	5	7	6	12										1	1	2	6.0							
宿泊業、飲食サービス業																													0	0	0	0.0				
生活関連サービス業、娯楽業						1		1																		1	0	1	0.3							
教育、学習支援業						3	1	4						1	1	2	5	2	7	1	1	2	4	1	5	4	3	7	2	1	3	8.8				
医療、福祉			1		1	1		1						1	1											1	1	2	1.5							
複合サービス事業																													0	0	0	0.0				
サービス業			1	1	2	1		1				2	1	3	8	1	9										11	3	14	4.2						
公務														4		4										4	0	4	1.2							
その他																										0	0	0	0.0							
合計			2	2	4	7	2	9	2	1	3	1	0	1	24	22	46	205	38	243	1	1	2	5	2	7	5	5	10	3	3	6	255	76	331	100.0

# 大学教育再生戦略推進費等採択状況

## 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

採択年度	取組名称	連携大学
平成29年(～令和3年)	超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成	富山大学、金沢大学、信州大学 福井大学、金沢医科大学、 石川県立看護大学

※ 申請担当 金沢大学

## 医療データ人材育成拠点形成事業

採択年度	取組名称	連携大学
令和元年(～令和5年)	医療リアルワールドデータ活用人材育成事業	富山大学、東京大学、 筑波大学、自治医科大学

※ 代表校 東京大学

## 課題解決型高度医療人材養成プログラム

採択年度	取組名称	連携大学
令和元年(～令和3年)	北陸高度アレルギー専門医療人育成プラン	富山大学、福井大学、金沢大学

※ 申請担当 福井大学

## 数理・データサイエンス・AI教育の全国展開

採択年度	取組名称	連携大学
令和2年(～令和3年)	数理・データサイエンス教育の全学必修化と北陸地区の 大学連携による地域への普及	富山大学、金沢大学、福井大学

※ 事業総括 富山大学

## 大学による地方創生人材教育プログラム構築事業

採択年度	取組名称	連携大学
令和2年(～令和6年)	地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」 ー選定4大学の幹事校ー	富山大学、金沢大学、信州大学

※ 事業責任大学 信州大学

# 共同研究講座

設置部局名	講座・研究部門名	設置期間	教育研究の概要
工学部 (大学院理工学研究部)	先端電力システム (北陸電力) 共同研究講座	平成31年 4月 1日～ 令和 4年 3月31日	電力系統工学の諸課題の研究並びに電力系統工学に通じた人材の育成を図るため、電力系統工学の理論、計画・運用する理論並びに解析手法理論及び再生可能エネルギーの大量普及を可能とする電力系統対策に関する研究を行う。



# 寄附講座・寄附研究部門

設置部局名	講座・研究部門名	設置期間	教育研究の概要
医学部 (大学院医学薬学研究部)	富山プライマリ・ケア講座	平成25年10月1日～ 令和5年3月31日	まちなか診療所(機能強化型在宅療養支援診療所)を運営する中で、都市型の地域包括ケアシステムを構築するために、市の地域医療と在宅医療の実態調査および地域医療や在宅医療の担い手となる医師養成に関する研究、教育や研修指導体制の充実・強化を図る。
薬学部 (大学院医学薬学研究部)	製剤設計学講座	平成27年4月1日～ 令和7年3月31日	製剤設計学講座は富山県の製薬産業を牽引する先導的な研究拠点として、製剤開発に関する最先端研究を推進し、地域のさらなる活性化に貢献する。また、基礎科学と実学が融合した卓越した研究プロジェクトを通して、富山県の医薬品業界を担う有能で魅力的な製剤研究者・技術者の養成に努める。
附属病院	地域医療総合支援学講座	平成29年4月1日～ 令和5年3月31日	富山県内で活躍する医師のキャリアアップ及び人材育成支援を推進するとともに、専門医資格取得のための支援体制を確立し、富山県の医療を充実させ、質の向上を図る。また、県内の地域医療に関する課題を検証し、公的病院が抱える医師偏在の状況を把握し、医療派遣問題の解決に向け調査・研究を行う。
附属病院	南砺・地域医療支援学講座	平成30年4月1日～ 令和4年3月31日	南砺地域で不足する診療分野の診療を富山大学附属病院の医師が担うことにより、地域医療の充実に貢献することを目的とし、南砺地域における臨床研修医に対する研修体制及び研究環境の整備・充実を図り、専門医及び総合医の育成を図るための育成教育プログラムを作成し、南砺市民病院においてプログラムに基づく人材育成を行う。
附属病院	朝日・地域医療支援学講座	平成31年4月1日～ 令和4年3月31日	朝日地域で不足する診療分野の診療を富山大学附属病院の医師が担うことにより、地域医療の充実に貢献することを目的とし、朝日地域における臨床研修医に対する研修体制及び研究環境の整備・充実を図り、専門医及び総合医の育成を図るための育成教育プログラムを作成し、あさひ総合病院においてプログラムに基づく人材育成を行う。
附属病院	糸魚川・地域医療支援学講座	平成31年4月1日～ 令和4年3月31日	糸魚川地域で不足する診療分野の診療を富山大学附属病院の医師が担うことにより、地域医療の充実に貢献することを目的とし、糸魚川総合病院における診療体制の充実を図り、上越地域における臨床研修医に対する研修体制、研究環境の整備・充実、専門医及び総合医の育成を図る。
医学部	消化器がん診断・治療学推進講座	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	消化器がん診療、特に内視鏡・超音波・血管カテーテル等を用いた低侵襲治療、薬物療法における高度な専門知識・技術の地域間格差を解消するために、地域拠点病院における診療の指導を行い、さらに新たな診断・治療の開発を目指すことを目的とする。
医学部	臨床生体材料応用講座	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	再生医学講座で開発を進めてきた羊膜を利用した医療機器や羊膜由来細胞の実用化に向けた技術開発を行い、新たな再生医療材料の普及に大きく寄与することを目的とする。
経済学部	データサイエンス寄附講座	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	地域の行政、産業界からの課題を、寄附講座の教員と学生がデータサイエンスを基に解析し、解決策を「商品」として提示することにより、地域貢献に寄与する。また、地域の行政、産業界からの実践的な課題を教材として学習することにより、優秀なデータサイエンティストを養成することを目的とする。
附属病院	上市・地域医療支援学講座	令和3年4月1日～ 令和6年3月31日	上市地域で不足する診療分野の診療を富山大学附属病院の医師が担うことにより、地域医療の充実に貢献することを目的とし、将来に向けた地域包括ケアを担う医療人材の育成やかみいち総合病院との病院機能の分化を踏まえた患者の紹介・逆紹介の円滑化を図る。
附属病院	先端危機管理医学講座	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	我が国の地域毎の新たな医療システムの基盤となる社会構造研究の開発を推進することにより、SDGsを実現するためのSociety5.0の応用課題を探究する「先端危機管理医学」領域の研究を、国際的に担う医療人材を育成するとともに、現代社会活動における「人流」について多角的な視点から研究を行い、Society5.0の時代におけるニューノーマル社会における先端危機管理医学教育研修のあり方を探究する。

# 附属病院診療実績

## (1) 患者数

単位:人

区分 年度	入院患者数		病床稼働率 (612床)	外来患者数		救急患者数			
	年間(延数)	1日平均		年間(延数)	1日平均	年間(延数)	1次救急	2次救急	3次救急
平成30年度	183,854	503.7	82.31%	315,953	1,300.2	4,350	2,315	1,277	758
令和元年度	180,299	492.6	80.51%	323,856	1,355.1	4,314	2,294	1,352	668
令和2年度	168,867	462.6	75.60%	307,264	1,269.1	3,568	1,662	1,304	602

## (2) 地域別入院及び外来患者数

新入院患者数

単位:人

区分 年度	富山県	石川県	新潟県	岐阜県	長野県	その他	合計
平成30年度	11,375	188	540	582	6	177	12,868
令和元年度	11,799	198	549	510	3	183	13,242
令和2年度	11,941	155	442	501	12	243	13,294

外来患者延数

単位:人

区分 年度	富山県	石川県	新潟県	岐阜県	長野県	その他	合計
平成30年度	297,156	3,517	6,016	6,872	97	2,295	315,953
令和元年度	305,280	3,790	5,879	6,673	115	2,119	323,856
令和2年度	289,754	3,164	5,359	6,321	130	2,536	307,264

## (3) 手術及び麻酔件数

(手術部手術室で行った件数) 単位:件

区分 年度	手術件数								麻酔件数		
	0~999点	1,000~2,999点	3,000~4,999点	5,000~9,999点	10,000~14,999点	15,000~19,999点	20,000点以上	計	0~999点	1,000点以上	計
平成30年度	169	690	392	1,025	1,238	583	3,679	7,776	5,087	6,704	11,791
令和元年度	165	636	365	968	1,314	581	3,666	7,695	4,847	7,097	11,944
令和2年度	202	625	389	965	1,356	548	3,694	7,779	4,743	7,553	12,296

## (4) 分娩件数

単位:人

区分 年度	正常分娩		異常分娩		計
	成熟児	低出生体重児	成熟児	低出生体重児	
平成30年度	161	22	138	71	392
令和元年度	156	28	105	79	368
令和2年度	223	49	149	61	482

※低出生体重児 2,500g未満

## (5) 処方箋発行枚数

単位:枚

区分 年度	入院	外来		計	院外処方箋 発行率 B/(A+B)%
		院内 A	院外 B		
平成30年度	93,336	12,134	148,033	253,503	92.42%
令和元年度	91,791	11,784	150,604	254,179	92.74%
令和2年度	90,512	9,609	140,755	240,876	93.61%

## (6) 画像診断件数

単位:件

区分 年度	CT			MRI			PET		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
平成30年度	7,792	16,451	24,243	2,899	7,085	9,984	64	1,091	1,155
令和元年度	6,629	17,816	24,445	2,756	7,420	10,176	62	1,527	1,589
令和2年度	7,903	17,735	25,638	3,002	7,333	10,335	46	1,579	1,625

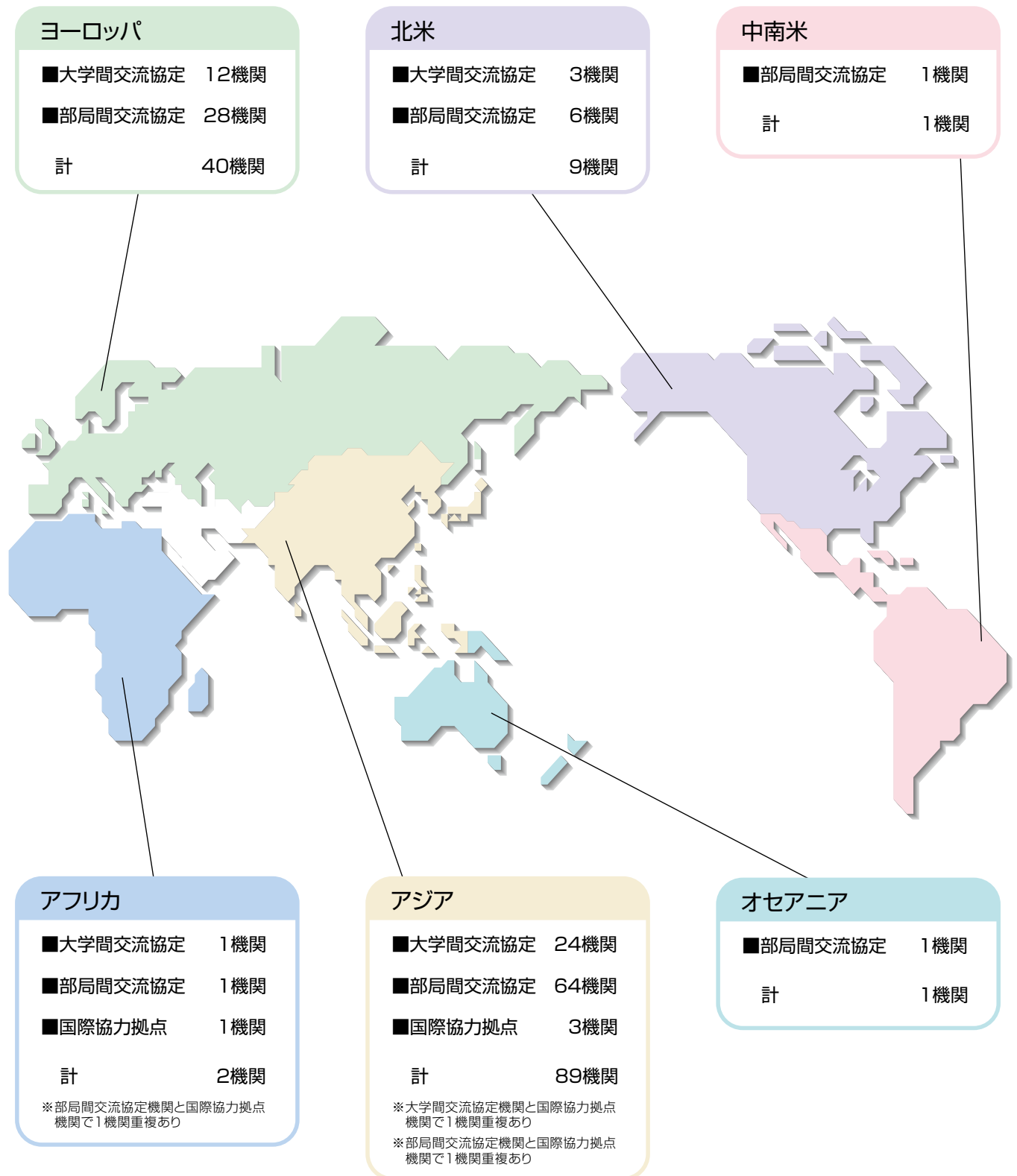
## (7) 紹介患者数

単位:人

区分 年度	初診患者数	書面による紹介患者数		その他		緊急用自動車によって 搬入された 紹介患者数	うち、 初診の患者	書面による他の医療 機関への紹介患者数		紹介率	逆紹介率
		病院からの 紹介	診療所(医院) からの紹介	電話情報及び 医師の名刺等 による紹介	精密検査を 必要とし書面 による紹介			病院への紹介	診療所(医院) への紹介		
平成30年度	14,298	5,085	5,015	0	541	1,848	1,123	4,001	4,565	82.27%	59.91%
令和元年度	14,388	4,992	5,252	0	563	1,674	1,019	4,374	5,408	82.19%	67.99%
令和2年度	13,361	4,682	4,735	0	466	1,529	917	3,906	5,186	80.83%	68.05%

# 国際交流

■大学間交流協定	17カ国・地域40機関		
■部局間交流協定	28カ国・地域101機関		
■国際協力拠点	3カ国 4機関	総数	32カ国142機関



## 大学間交流協定 (17カ国・地域40機関40協定)

国・地域名	大学等名	協定年月日	国・地域名	大学等名	協定年月日
インドネシア	ハサヌディン大学	2002.3.27 (2012.7.5再締結)	中国	上海大学	2002.6.28 (2017.11.2再締結)
韓国	大邱韓医大学校	2004.10.7		東北大学	2005.9.12
	国民大学校	2005.3.7	ベトナム	軍医大学	2011.10.24
	江原大学校	2016.12.16		ハノイ工科大学	2017.2.27
	慶北大学校	2017.3.14	マレーシア	トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学	2016.2.1
タイ	チュラロンコン大学	2001.3.30 (2008.3.28再締結)	エジプト	アシュート大学	2003.2.2 (2008.7.19再締結)
	マヒドン大学	2001.7.30 (2012.10.30再締結)	アメリカ合衆国	マーレイ州立大学	2005.9.20
	チェンマイ大学	2015.11.17		ハワイ大学マウイカレッジ	2014.5.27
台湾	国立政治大学	2014.4.14		チャールストンカレッジ	2017.2.20 (2020.7.8再締結)
	銘傳大学	2015.3.21	イタリア	トリノ工科大学	2021.1.13
	国立中央大学	2016.10.19	スイス	バーゼル大学	2018.3.20 (2021.3.29再締結)
中国	遼寧大学	1984.5.9	スロバキア	ジリナ大学	2015.10.20
	瀋陽薬科大学	1985.5.10 (2011.11.10再締結)		コシツエ工科大学	2015.11.19
	中日友好医院	1986.5.7 (2012.12.7再締結)	ノルウェー	UiTノルウェー北極大学	2016.2.11 (2021.4.6再締結)
	北京大学医学部	1998.1.23		ノルウェー科学技術大学	2019.2.26
	大連理工大学	1999.11.11 (2004.10.18再締結)	フィンランド	LAB応用科学大学	1997.11.5 (2008.3.25再締結)
	蘭州大学	1999.11.12 (2004.10.9再締結)	フランス	オルレアン大学	2015.3.4 (2020.9.7再締結)
	内蒙古医科大学	2001.7.20 (2012.7.25再締結)		ストラスブール大学	2019.3.25
	山東大学	2002.4.1 (2016.9.8再締結)	ポーランド	AGH科学技術大学	2015.10.23
			ロシア	極東連邦大学	2001.12.10
		ノヴォシビルスク大学		2017.10.16	

## 部局間交流協定 (28カ国・地域101機関101協定)

学部等名	国・地域名	大学等名	協定年月日
人文学部	中国	佳木斯大学外国語学院	2014.6.19
	ベトナム	ハノイ国家大学外国語大学	2015.12.22
		ベトナム社会科学院漢喃研究院	2017.3.1
	ロシア	モスクワ言語大学	2013.3.22
人間発達科学部	インドネシア	ウダヤナ大学文化学部	2007.8.22
		ピナ・ヌサンタラ大学人文学部	2007.10.15
	タイ	コンケン大学教育学部	2015.2.18
	オランダ	ライデン大学人文学部	2016.12.15
	スペイン	マドリッド自治大学教育学部	2017.9.15
	ロシア	ウラジオストク・ネヴェリスキー海事国立大学	2003.3.27
人間発達科学部附属小学校	韓国	ソウル慶熙大学校併設初等学校	2004.3.22
	中国	大連海事大学附属学校	2005.3.22
人間発達科学部附属中学校	中国	遼寧省阜新市実験中学校	2001.8.2
経済学部	韓国	国立釜山大学校スクール・オブ・ビジネス及び経営特殊大学院	2014.10.17 (2019.11.22再締結)
		京畿大学校経商学部	2016.4.19
		京畿大学校人文社会学部	2016.4.19
	台湾	開南大学商学院	2013.6.25
		開南大学人文社会学院	2013.6.25
	中国	中国人民大学公共管理学院	1996.12.10 (2004.10.9再締結)
		西南交通大学交通運輸与物流学院	2007.8.20 (2011.10.30修正)



# 国際交流

学部等名	国・地域名	大学等名	協定年月日
経済学部	中国	中南林業科技大学経済学院	2009.6.25 (2011.2.11 修正)
		南開大学日本研究院	2013.3.15
		内蒙古大学経済管理学院	2013.8.1
		中南林業科技大学商学院	2016.11.28
理学部	インドネシア	パランカラヤ大学農学部	2013.7.31
	タイ	キングモンクット工科大学ラカバン校農業技術学部	2019.7.24
	バングラデシュ	ジャハンギルナガル大学数物系科学部	2013.4.2
	マレーシア	モナッシュ大学医学健康科学部	2016.7.20
	イタリア	カメリーノ大学理工学部	2019.12.23
	チェコ	西ボヘミア大学新技術研究センター	2019.9.27
	ドイツ	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン 化学・薬学部化学科	2018.11.16
	フランス	レンヌ第一大学物質構造物性学部	2018.11.27
医学部	韓国	忠南大学校医科大学	2006.1.12 (2011.5.9 再締結)
		亜州大学医学部・大学院	2007.10.24
	中国	重慶医科大学	2006.3.15 (2016.12.10 再締結)
		ハルビン医科大学	2011.5.13 (2016.12.20 再締結)
		威海市立病院	2019.11.28
	ベトナム	ハノイ医科大学	2013.6.27 (2019.2.15 再締結)
	モンゴル	モンゴル国立医科大学	2010.6.7 (2015.6.7 再締結)
	ブラジル	ブラジリア大学生物学研究所	2010.11.15 (2015.10.21 再締結)
	アメリカ合衆国	ハワイ大学マノア校ジョンA.バーンス医学部	2011.11.16 (2019.2.27 再締結)
	カナダ	アルバータ大学医・歯学部	2011.9.20
英国	ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ「社会と健康」国際研究センター	2004.9.8	
ドイツ	ルール大学ボーフム医学部附属バートクーンハウゼン心臓・糖尿病センター胸部・心臓血管外科	2014.8.26	
薬学部	韓国	慶熙大学校薬学大学	2012.2.10
	マレーシア	マラヤ大学医学部薬学科	2018.1.19
	アメリカ合衆国	南カリフォルニア大学薬学部	2000.4 (2016.10.21 再締結)
		アメリカ健康科学大学薬学部	2020.2.4
	アイルランド	ダブリン大学トリニティカレッジ薬学部	2010.6.28
工学部	中国	大連交通大学	2005.2.25
		西南交通大学牽引動力国家重点実験室	2005.2.25
	バングラデシュ	ラジシャヒ工科大学	2018.2.28
	マレーシア	マラ工科大学機械工学部	2013.2.22
		トゥン フセイン オン マレーシア大学電気電子工学部	2018.5.11
	アメリカ合衆国	バージニア大学工学・応用科学部	1999.12.8 (2004.6.23 再締結)
	アルバニア	ティラナ工科大学機械工学部	2013.2.15
	チェコ	チェコ共和国科学アカデミー科学機器研究所	2003.11.10
	ポーランド	ワルシャワ工科大学電子情報工学部	2015.10.26
	ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部自動制御プロセス研究所	2003.12.22
芸術文化学部	タイ	パタナシン芸術大学	2012.1.19
	スウェーデン	カペラゴードン美術工芸学校	2009.5.20 (2012.9.25 修正)
	チェコ	プラハ美術工芸大学	2008.12.15 (2012.8.8 修正)
都市デザイン学部	中国	石油大学(北京)理学院	2015.1.20
		昌吉学院物理系	2016.7.26
	オーストラリア	ニュー・サウス・ウェールズ大学キャンベラキャンパスオーストラリア防衛大学校理学部	2002.12.2 (2012.10.23 再締結)
	アメリカ合衆国	アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センター	2019.3.18
	オーストリア	ウィーン工科大学土木工学部	2019.10.30
	ポーランド	ポーランド科学アカデミー冶金・材料科学研究所	2013.9.23
ヴロツワフ科学技術大学環境工学部		2016.11.21	

学部等名	国・地域名	大学等名	協定年月日
和漢医薬学総合研究所	韓国	ソウル大学校薬学大学天然物科学研究所	1998.10.1 (2016.11.8 再締結)
		韓医学研究院	2017.2.6
		世明大学校保健バイオ大学	2019.4.23
	タイ	コンケン大学薬学部	2003.11.14 (2016.5.20 再締結)
		ウボンラーチャタニ大学薬学部	2017.1.25
	台湾	国立嘉義大学生命科学院	2016.5.19
	中国	南京中医薬大学薬学院	2002.10.27 (2012.8.16 再締結)
		広西中医薬大学薬学院	2018.5.15
	ベトナム	国立薬物研究所	2009.10.27 (2014.11.7 再締結)
		フエ大学医学薬学部	2014.6.3
		ホーチミン医科薬科大学伝統医学部	2018.7.9
		カントー大学自然科学部	2018.8.27
	ミャンマー	ヤンゴン大学化学部	2016.2.15 (2020.12.30 再締結)
		保健・スポーツ省伝統医療局	2016.11.15
	モンゴル	モンゴル国立大学応用科学工学部	2004.3.30 (2012.9.21 再締結)
	エジプト	カイロ大学薬学部	2001.6.18 (2011.4.27 再締結)
極東地域研究センター	中国	吉林大学東北アジア研究院	2003.6.18
		中国農業大学経済管理学院	2003.7.1
		中国科学院江西省千煙州紅壤丘陵総合開発試験站	2004.2.20
		吉林農業大学経済管理学院	2004.3.1
		復旦大学中国社会主义市場経済研究センター	2005.6.12
		東北財経大学 経済・社会発展研究院	2006.6.15
	中国科学院長白山森林生態系研究ステーション	2007.2.8	
	ロシア	ロシア科学アカデミーシベリア支部経済工業生産組織研究所	2003.7.3
		ハカシア国立大学	2003.10.29
		ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所	2004.7.9
		ロシア科学アカデミー社会政治研究所社会人口学・経済社会学センター	2010.3.16
		極東国立農業大学	2011.7.15
		ロシア科学アカデミー極東支部地質・自然管理研究所	2012.8.17
		サンクトペテルブルク国立経済大学グレーターユーラシア研究所	2019.2.27
韓国		国立核融合研究所韓国 ITER 機構	2014.11.17 (2019.10.29 再締結)
ロシア	サンクトペテルブルク・ボンシェブリイエビッチ通信大学	2002.12.18	

## 国際協力拠点 (3カ国4機関4拠点)

拠点レベル	相手国	拠点名称	相手機関	締結年月日
富山大学	タイ	富山大学・チュラロンコン大学薬学部:天然薬物における国際協力拠点	チュラロンコン大学薬学部	2010.12.7
		チュラロンコン大学薬学部・富山大学:天然薬物における国際協力拠点		
富山大学	中国	富山大学・北京大学医学部薬用資源研究国際協力センター	北京大学医学部	2005.2.25 (2015.2.25 再締結)
和漢医薬学総合研究所		北京大学医学部・富山大学薬用資源研究国際合作中心		
和漢医薬学総合研究所	中国	富山大学和漢医薬学総合研究所・南京中医薬大学薬学院:国際協力拠点	南京中医薬大学薬学院	2006.11.4 (2012.8.16 再締結)
		南京中医薬大学薬学院・富山大学和漢医薬学総合研究所:国際協力拠点		
和漢医薬学総合研究所	エジプト	富山大学和漢医薬学総合研究所・カイロ大学薬学部:国際協力拠点オフィス	カイロ大学薬学部	2011.4.27
		カイロ大学薬学部・富山大学和漢医薬学総合研究所:国際協力拠点オフィス		

# 自治体等との連携協力に関する協定

## 全学協定

### 自治体

相手	名称	締結年月日
富山県	富山県と国立大学法人富山大学との連携に関する協定	平成17年11月1日
富山市	富山市新産業支援事業に関する協定	平成18年6月29日
富山市	富山市と国立大学法人富山大学との連携協力に関する包括協定	平成20年10月21日
魚津市	魚津市と富山大学との連携協力に関する包括協定	平成23年10月27日
高岡市	高岡市と富山大学との連携協力に関する包括協定	平成23年11月28日

### 金融機関

相手	名称	締結年月日
北陸銀行	国立大学法人富山大学と株式会社北陸銀行との包括的連携協力に関する覚書	平成17年3月23日
富山第一銀行	国立大学法人富山大学と株式会社富山第一銀行との包括的連携協力に関する覚書	平成17年12月1日
富山銀行	国立大学法人富山大学と株式会社富山銀行との包括的連携協力に関する覚書	平成17年12月1日
日本政策金融公庫 富山支店	産学連携の協力推進に係る協定	平成19年2月8日
高岡信用金庫	産学連携の協力推進に係る協定	平成20年2月21日

### 報道機関

相手	名称	締結年月日
(株)北日本新聞社	国立大学法人富山大学と株式会社北日本新聞社との包括連携協力に関する協定書	平成26年11月21日
富山テレビ放送(株)	国立大学法人富山大学と富山テレビ放送株式会社との包括連携協力に関する協定書	平成26年12月9日
(株)読売新聞東京本社	国立大学法人富山大学と株式会社読売新聞東京本社との包括連携協力に関する協定書	平成27年3月25日

### その他

相手	名称	締結年月日
富山地方鉄道(株)	国立大学法人富山大学と富山地方鉄道(株)との地域交通振興に関する連携協定	平成24年9月21日
国土交通省北陸地方整備局	国立大学法人富山大学と国土交通省北陸地方整備局との連携・協力に関する協定	平成26年2月13日
国際ロータリー第2610地区	国立大学法人富山大学と国際ロータリー第2610地区との海外派遣事業に関する覚書	平成26年5月25日
東京大学宇宙線研究所	国立大学法人東京大学宇宙線研究所と国立大学法人富山大学との重力波研究推進のための覚書	令和2年4月6日
一般社団法人立山黒部ジオパーク協会	国立大学法人富山大学と一般社団法人立山黒部ジオパーク協会との連携・協力に関する協定書	令和2年12月1日

## 部局協定

相手	部局名	名称	締結年月日
WFP国連世界食糧計画日本事務所	人間発達科学部	WFP国連世界食糧計画日本事務所と国立大学法人富山大学人間発達科学部との連携協力に関する覚書	平成18年3月7日
富山県教育委員会	人間発達科学部	富山県教育委員会と国立大学法人富山大学人間発達科学部との連携協力に関する覚書	平成18年3月24日
早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター	人間発達科学部	富山大学人間発達科学部と早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンターとの教育的社会貢献活動に関する協力協定	平成19年6月18日

高岡市	芸術文化学部	高岡市と国立大学法人富山大学芸術文化学部との連携に関する協定	平成19年11月9日
舟橋村	地域づくり・文化支援センター	富山県舟橋村と国立大学法人富山大学地域づくり・文化支援センターにおける地域づくりに関する協定	平成20年2月15日
氷見市	理学部	氷見市と国立大学法人富山大学理学部との連携に関する協定	平成23年3月30日
和歌山県田辺市	地域連携推進機構	田辺市と国立大学法人富山大学地域連携推進機構との人材育成連携に関する覚書	平成28年1月29日
舟橋村 西日本電信電話(株)富山支店 エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジ(株)	地域連携推進機構	舟橋村における「ICT活用による子育てコミュニティづくり」に係る連携協力に関する覚書	平成28年6月30日
舟橋村 一般社団法人富山県緑化造園土木協会 一般社団法人日本造園建設業協会富山県支部 一般社団法人日本造園組合連合会富山県支部	地域連携推進機構	舟橋村における「公共空間の整備・利用による子育てコミュニティづくり」に係る連携協力に関する覚書	平成29年1月20日
学校法人荒井学園 魚津市	地域連携推進機構	新川創生プロジェクト「地域に残り、地域を支える若者育成」に係る連携協力に関する覚書	平成29年6月9日
南砺市	地域連携推進機構	“南砺で暮らしませんか!”プロジェクトに係る連携協力に関する覚書	平成29年7月21日
中日本高速道路 株式会社金沢支社	地域連携推進機構	“沿道地域との連携による新たな価値創造”プロジェクトに係る連携協力に関する覚書	平成29年9月6日
砺波市	人文学部	砺波市と富山大学人文学部との連携に関する協定書	平成29年11月21日
株式会社 能作 オタヤ開発 株式会社 株式会社 大和高岡店 高岡市デザイン・工芸センター	芸術文化学部	やさしい・いもの プロジェクトに係る連携協力に関する覚書	平成30年4月17日
独立行政法人水資源機構 総合技術センター	都市デザイン学部	国立大学法人富山大学都市デザイン学部と独立行政法人水資源機構総合技術センターとの間における包括的な連携推進に関する協定書	平成30年6月25日

## その他

相手	名称	締結年月日
モンゴル科学技術大学 名古屋大学 (株)ジオ・コミュニケーションズ	モンゴル国における地質構造・鉱床成因・自然環境解析、人材育成及び地質情報の基盤整備のための日本・モンゴル間の包括的な連携・協力に関する協定	平成23年6月16日

# 令和2年度公開講座等の実績

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため前期は全て中止。

## 公開講座

多様なテーマと形態で  
市民一般を対象に開催

### ジャンル別講座数と受講者数

講座内容	教養	語学	体験	合計
講座数	12	6	8	26
受講者数	108	52	90	250



## サテライト講座

市民一般を対象に無料で開催

会場 富山大学五福キャンパス  
定員 各講座50名程度

総受講者数(全3回分)	131名
平均受講者数	43.7名/回

## オープン・クラス

富山大学が開設している正規授業を市民一般に公開

### 公開授業科目数と受講者数

学期	前期	後期	合計
科目数	0	373	373
受講者数	0	69	69





# 財務状況

## 令和元事業年度 貸借対照表の概要

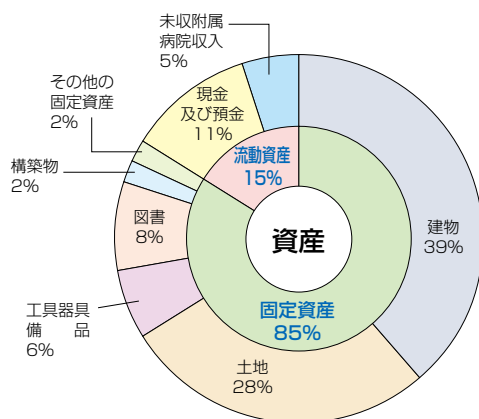
令和2年3月31日

(単位:千円)

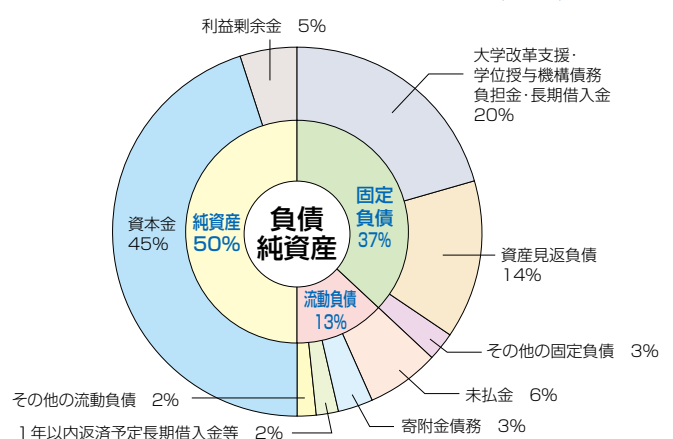
資産の部	
科目	金額
<b>固定資産</b>	<b>67,216,699</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>66,256,055</b>
土地	22,591,767
建物(建物附属設備を含む)	59,153,342
減価償却累計額	△28,337,903
減損損失累計額	△1,012
構築物	3,746,055
減価償却累計額	△2,430,367
減損損失累計額	△1,039
工具器具備品	27,571,375
減価償却累計額	△22,788,507
図書	6,140,911
その他の有形固定資産	692,431
減価償却累計額	△80,997
<b>無形固定資産</b>	<b>54,606</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>906,037</b>
<b>流動資産</b>	<b>12,807,798</b>
現金及び預金	8,606,809
未収学生納付金収入	66,975
未収附属病院収入	3,753,246
徴収不能引当金	△34,766
その他未収入金	162,776
たな卸資産	15,785
医薬品及び診療材料	215,369
その他の流動資産	21,602
<b>資産合計</b>	<b>80,024,497</b>

負債及び純資産の部	
科目	金額
<b>固定負債</b>	<b>29,533,897</b>
資産見返負債	10,942,718
長期リース債務	1,294,317
大学改革支援・学位授与機構債務負担金	255,820
長期借入金	16,197,671
退職給付引当金	493,892
その他の固定負債	349,477
<b>流動負債</b>	<b>10,353,252</b>
運営費交付金債務	2,429
寄附金債務	2,524,552
短期リース債務	817,690
前受受託研究費	190,343
前受共同研究費	97,229
前受受託事業費等	36,559
預り金等	252,653
一年以内返済予定長期借入金等	1,373,013
未払金	4,940,807
その他の流動負債	117,972
<b>負債合計</b>	<b>39,887,150</b>
<b>資本金</b>	<b>39,953,982</b>
政府出資金	39,953,982
<b>資本剰余金</b>	<b>△3,919,537</b>
資本剰余金	18,238,633
損益外減価償却累計額(一)	△22,157,132
損益外減損損失累計額(一)	△1,039
<b>利益剰余金</b>	<b>4,102,902</b>
前中期目標期間繰越積立金	1,620,263
目的積立金	624,113
積立金	392,650
当期未処分利益	1,465,875
(うち当期総利益)	(1,465,875)
<b>純資産合計</b>	<b>40,137,347</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>80,024,497</b>

### ■資産の科目別割合 資産総額 80,024,497千円



### ■負債・純資産の科目別割合 負債総額 39,887,150千円 純資産総額 40,137,347千円



# 令和元事業年度 損益計算書の概要

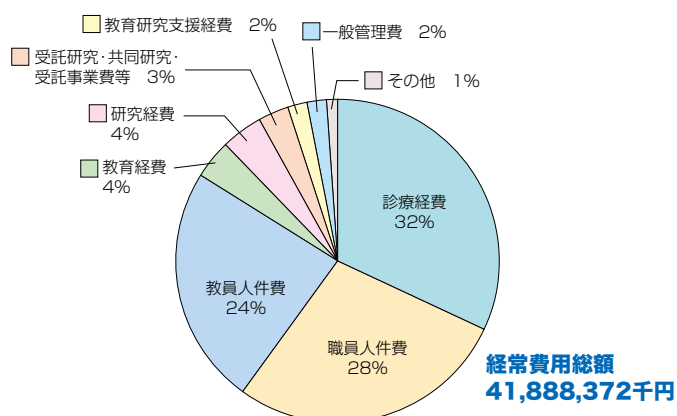
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位:千円)

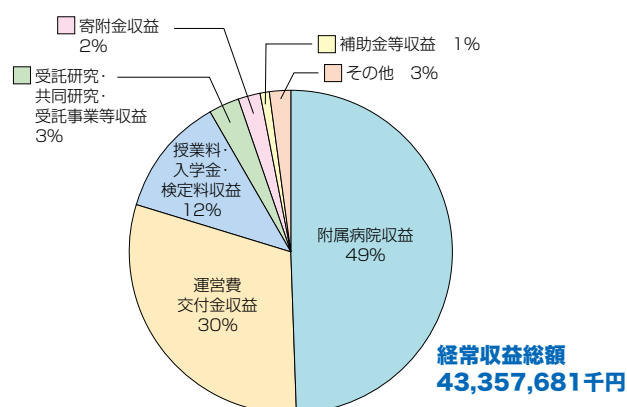
費用	
科目	金額
<b>経常費用</b>	<b>41,888,372</b>
業務費	40,834,398
教育経費	1,792,691
研究経費	1,635,462
診療経費	13,496,107
教育研究支援経費	942,657
受託研究費	544,759
共同研究費	242,928
受託事業費等	406,554
役員人件費	128,604
教員人件費	10,060,475
職員人件費	11,584,156
一般管理費	939,581
財務費用	102,751
雑損	11,640
<b>臨時損失</b>	<b>25,155</b>
固定資産除却損	13,660
損害賠償金・和解金	10,000
その他の臨時損失	1,495
<b>当期総利益</b>	<b>1,465,875</b>
<b>合計</b>	<b>43,379,403</b>

収益	
科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>43,357,681</b>
運営費交付金収益	13,350,888
授業料収益	4,442,457
入学金収益	648,145
検定料収益	164,528
附属病院収益	21,201,758
受託研究収益	530,570
共同研究収益	242,915
受託事業等収益	409,695
施設費収益	48,698
補助金等収益	201,952
寄附金収益	708,372
資産見返負債戻入	874,789
雑益	532,906
<b>臨時利益</b>	<b>14,103</b>
固定資産売却益	95
固定資産除却に伴う資産見返負債戻入	11,007
保険金収益	3,000
<b>目的積立金取崩額</b>	<b>7,619</b>
<b>合計</b>	<b>43,379,403</b>

## ■経常費用の科目別割合



## ■経常収益の科目別割合



# 令和2年度 科学研究費助成事業(科研費)等の受入状況

## 科学研究費助成事業(科研費)

令和3年3月現在

研究種目	令和元年度		令和2年度	
	採択件数*	交付金額(千円)**	採択件数*	交付金額(千円)**
特別推進研究	1	141,830	1	120,120
新学術領域研究	12	49,010	8	38,870
基盤研究(S)	0	0	0	0
基盤研究(A)	3	20,529	2	10,270
基盤研究(B)	40	187,460	49	249,904
基盤研究(C)	248	317,400	260	324,904
挑戦的研究	14	28,600	16	38,090
若手研究(B)	11	8,665	3	2,340
若手研究	51	78,134	75	108,478
研究活動スタート支援	7	9,931	12	17,030
特別研究員奨励費	7	8,090	6	7,420
国際共同研究強化	6	16,510	7	35,880
合 計	400	866,159	439	953,306

※継続課題含む。  
 ※※間接経費含む。

## 共同研究・寄附金・受託研究費

令和3年3月現在

区 分	令和元年度		令和2年度	
	件 数	金額(千円)	件 数	金額(千円)
民間等との共同研究	250	242,773	238	249,572
寄附金	927	704,725	787	827,847
受託研究費	178	737,658	175	855,879
合 計	1,355	1,685,156	1,200	1,933,298

# 学生の厚生施設

## 学生会館

室名	面積 (m <sup>2</sup> )	収容人員 (人)	用途
ラウンジ	574	137	休憩・談話・キャンパスコンビニ・その他
ホール	318	156	講演・演奏・その他
多目的利用室 No.3-5	90	36	集会
和室	40	15	茶道・華道等
課外活動室A	30	—	課外活動
課外活動室B	30	—	課外活動
印刷室	7	—	印刷

## 食堂等

名称	室名	面積 (m <sup>2</sup> )	名称	室名	面積 (m <sup>2</sup> )
五福キャンパス (大学食堂)	食堂	1,311	(学生支援・地域 連携交流プラザ)	カフェラウンジ	269
	購買・書籍部	404			
	理髪室	46			
	事務室・その他	579			
(第2大学食堂) ※工学部構内	食堂	657	杉谷キャンパス	食堂・売店	916
	購買・書籍部	184		理容室	30
	談話コーナー	35		談話室	155
	事務室・その他	425	高岡キャンパス	食堂・売店	203

## 学生寮

名称	所在地	入寮定員 (人)		
新樹寮	富山市寺町2639-1	A棟	SIタイプ:約13m <sup>2</sup>	95
		B棟		51
		C棟		59
		D棟		67
		E棟	SIタイプ:約20m <sup>2</sup>	30
		DIタイプ:約25m <sup>2</sup>	6	



▲学生会館



▲学生寮



# 土地・建物、部局等所在地

区分	棟名称	土地 (m <sup>2</sup> )	建物面積 (m <sup>2</sup> )	所在地
五福キャンパス	共通教育棟 (A棟)	231,456	3,150	富山市五福
	理学部1号館		10,490	
	総合情報基盤センター		2,301	
	理学部2号館		9,134	
	放射性同位元素総合実験室		336	
	人間発達科学部第1棟		3,800	
	人間発達科学部第2棟		3,553	
	人間発達科学部第4棟		776	
	人間発達科学部第5棟		642	
	共通教育棟 (C棟)		1,504	
	共通教育棟 (D棟)		779	
	保健管理センター・事務局		1,311	
	武道場		554	
	第1体育館		1,322	
	学生会館		2,509	
	水素同位体科学研究センター		2,365	
	中央図書館		9,470	
	大学食堂		2,340	
	人間発達科学部第3棟		3,867	
	エネルギーセンター		340	
	共通教育棟 (E棟)		1,996	
	弓道場射場		78	
	経済学部演習棟		2,329	
	経済学部講義棟		1,064	
	第2体育館		1,373	
	共通教育棟 (B棟)		1,670	
	事務局		2,538	
	職員会館		573	
	人間発達科学研究実践総合センター		531	
	機械系実験研究棟		2,945	
	材料系実験研究棟		2,653	
	共通研究棟		1,456	
	管理棟Ⅱ		1,152	
	管理棟Ⅰ		1,318	
	実習工場		746	
	第2大学食堂		1,301	
	化学系実験研究棟		4,033	
	共通講義棟		2,605	
	電気系実験研究棟		3,780	
	高電圧実験室		176	
	環境安全推進センター		459	
	第3体育館		1,188	
	学術研究・産学連携本部		2,144	
	国際機構棟		380	
	人文学部校舎		7,663	
	黒田講堂		1,741	
電子情報実験研究棟	2,237			
化学生物実験研究棟	1,430			
経済学部研究棟	6,288			
大学院実験研究棟	4,354			
総合研究棟	6,483			
学生支援・地域連携交流プラザ	1,477			
サークル棟	1,693			
創造工学センター	204			
自然科学研究支援ユニット極低温量子科学施設	209			
総合情報基盤センターデータセンター棟	990			
総合教育研究棟 (工学系)	6,378			
災害対策プラザ	707			
都市デザイン学部実験実習棟	2,385			
その他	3,788			
	合計		147,058	

区分	棟名称	土地 (m <sup>2</sup> )	建物面積 (m <sup>2</sup> )	所在地
杉谷キャンパス	講義実習棟	381,182	6,987	富山市杉谷
	解剖棟		945	
	体育館		1,495	
	福利棟		1,438	
	厚生棟		1,085	
	医学部研究棟		18,003	
	附属病院		47,780	
	生命科学先端研究支援ユニット		6,040	
	管理棟		2,439	
	薬学部研究棟		6,098	
	共同利用研究棟		3,364	
	医薬学図書館・保健管理センター		4,075	
	薬用植物園研究棟		402	
	弓道場射場		95	
	看護師宿舎		4,768	
	和漢医薬学総合研究所		3,485	
	職員会館		278	
	武道館		335	
	民族薬物資料館・薬学研究資料館		1,496	
	国際交流会館		1,061	
	看護学科研究棟		7,881	
	医・薬学部研究棟		3,146	
	遺伝子実験施設		1,509	
	NMR装置棟		99	
	保育所		242	
	南病棟		13,250	
	薬学部研究棟II		2,108	
	災害対策プラザ		419	
医薬イノベーションセンター	6,842			
ヘリポート	841			
附属病院外来棟	3,057			
立体駐車場	7,418			
厨房棟	1,710			
その他	5,677			
	合計		165,868	
高岡キャンパス	C棟	99,847	3,451	高岡市二上町
	A・B1棟		3,337	
	H棟		3,508	
	D棟		2,336	
	エネルギー棟		721	
	G棟		1,734	
	F棟		1,078	
	洗心苑		428	
	E棟		2,225	
	B2棟		178	
	J棟		386	
	その他		116	
	合計		19,498	
西田地方		11,166	378	富山市花園町
附属学校	附属中学校校舎	39,333	5,015	富山市五艘
	附属中学校体育館		747	
	附属小学校校舎		2,974	
	附属小学校体育館		980	
	附属幼稚園舎		975	
	附属特別支援学校校舎		2,957	
	附属学校共用棟		1,184	
	その他		982	
	合計		15,814	
寺町		50,178	9,063	富山市寺町
五福宿舎		7,112	4,056	富山市五福
西田地方宿舎		8,116	5,412	富山市西田地方町
南太閤山宿舎		14,333	8,874	射水市南太閤山
立山施設		借用の為 0	95	中新川郡立山町浄土山頂

# キャンパス図

## 五福キャンパス

(事務局、人文学部、人間発達科学部、経済学部、理学部、工学部、都市デザイン学部)



### A Zone

- A1 黒田講堂
- A2 国際機構棟
- A3 多目的施設
- A4 共通教育棟 (A棟)
- A5 共通教育棟 (B棟)
- A6 共通教育棟 (C棟)
- A7 共通教育棟 (D棟)
- A8 共通教育棟 (E棟)
- A9 災害対策プラザ

### B Zone

- 人間発達科学部
- B1 人間発達科学部第1棟
  - B2 人間発達科学部第2棟
  - B3 人間発達科学部第3棟
  - B4 人間発達科学部第4棟
  - B5 人間発達科学部第5棟
  - B6 人間発達科学研究実践総合センター
  - B7 学生会館
- 生協コンビニ・ATM

### C Zone

- C1 第1体育館
- C2 第2体育館
- C3 大学食堂
- C4 中央図書館
- C5 プール
- C6 武道場
- C7 職員会館

### D Zone

- 本部
- D1 事務局
  - D2 学生支援・地域連携交流プラザ
  - D3 保健管理センター
  - D4 AZAMI (カフェ)
  - 警備員室
- 経済学部
- D5 経済学部研究棟
  - D6 経済学部演習棟
  - D7 経済学部講義棟

### E Zone

- 理学部・都市デザイン学部
- E1 理学部1号館
  - E2 理学部2号館
  - E3 総合研究棟
  - E4 水素同位体科学研究センター
  - E5 自然科学研究支援ユニット 極低温量子科学施設
  - E6 総合情報基盤センター
  - E7 自然科学研究支援ユニット 放射性同位元素実験施設
  - E8 環境安全推進センター

### F Zone

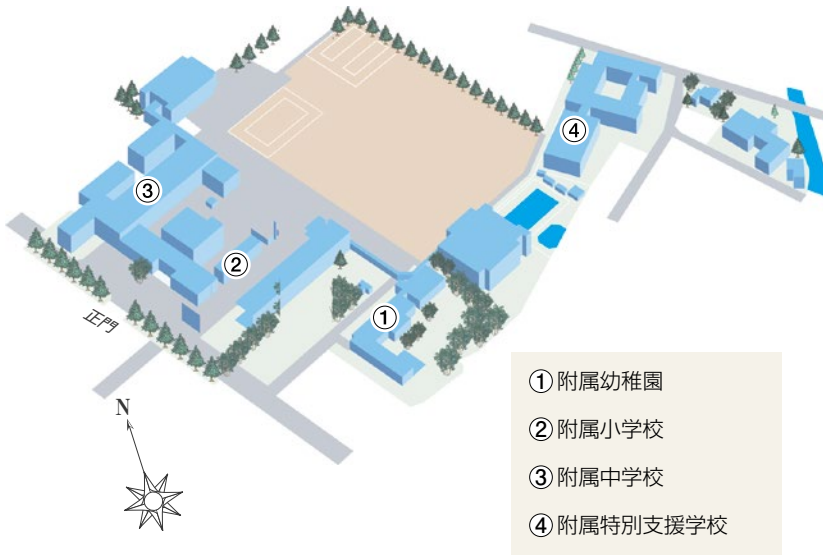
- 人文学部
- F1 人文学部校舎
  - F2 学生支援施設 (サークル棟)
  - F3 第3体育館
  - テニスコート
  - グラウンド1

### G Zone

- 工学部・都市デザイン学部
- G1 機械系実験研究棟
  - G2 共通研究棟
  - G3 材料系実験研究棟
  - G4 管理棟
  - G5 化学系実験研究棟
  - G6 共通講義棟
  - G7 電気系実験研究棟
  - G8 高電圧実験室
  - G9 電子情報実験研究棟
  - G10 化学生物実験研究棟
  - G11 大学院実験研究棟
  - G12 実習工場
  - G13 第2大学食堂
  - G14 学術研究・産学連携本部
  - G15 富山市新産業支援センター
  - G16 総合教育研究棟 (工学系)
  - G17 創造工学センター
  - G18 都市デザイン学部実験実習棟
  - グラウンド2

## 五艘地区

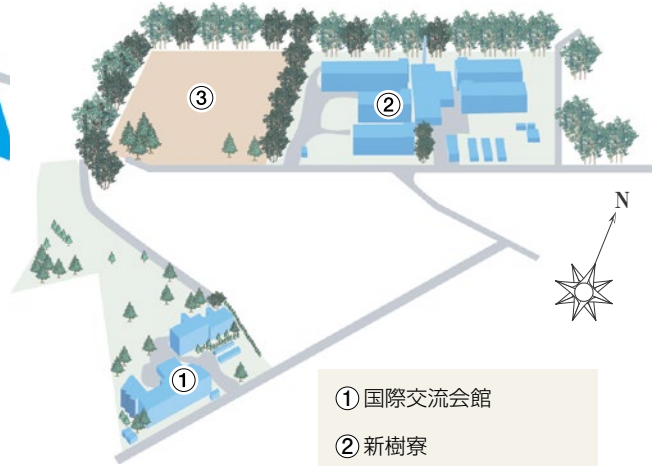
(人間発達科学部 附属学校)



- ① 附属幼稚園
- ② 附属小学校
- ③ 附属中学校
- ④ 附属特別支援学校

## 寺町地区

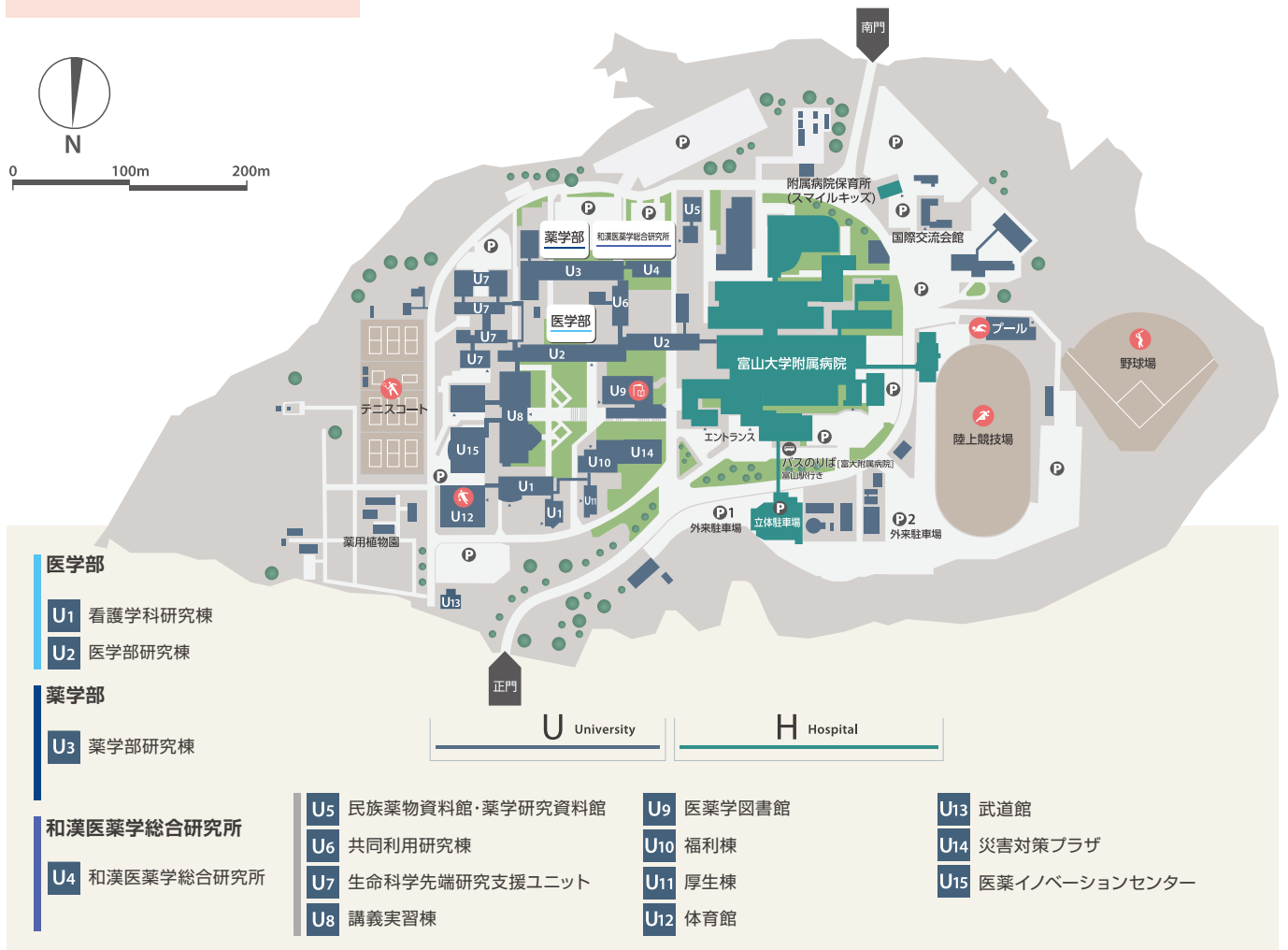
(国際交流会館、新樹寮)



- ① 国際交流会館
- ② 新樹寮
- ③ 自然観察実習センター

## 杉谷キャンパス

(医学部、薬学部、和漢医薬学総合研究所、附属病院)



- 医学部**
- U1 看護学科研究棟
- U2 医学部研究棟
- 薬学部**
- U3 薬学部研究棟
- 和漢医薬学総合研究所**
- U4 和漢医薬学総合研究所

- U5 民族薬物資料館・薬学研究資料館
- U6 共同利用研究棟
- U7 生命科学先端研究支援ユニット
- U8 講義実習棟

- U9 医薬学図書館
- U10 福利棟
- U11 厚生棟
- U12 体育館

- U13 武道館
- U14 災害対策プラザ
- U15 医薬イノベーションセンター

U University      H Hospital



## 高岡キャンパス

(芸術文化学部)



- A A棟
- B1 B1棟
- B2 B2棟
- C C棟
- D D棟

- E E棟
- F F棟 芸術文化図書館
- G G棟 体育館
- H H棟 食堂・生協コンビニ
- J J棟 災害対策プラザ

- 多目的グラウンド
- テニスコート
- 洗心苑



五福キャンパス



杉谷キャンパス



高岡キャンパス

# 位置図

- 東京 から** 羽田空港から(約1時間)  
JR東京駅から(約2時間10分)  
高速バス(約6時間30分)
- 大阪 から** JR大阪駅から(約3時間10分)  
車で名神高速道路-米原JCT-北陸自動車道-富山  
高速バス(約5時間40分)
- 名古屋 から** JR名古屋駅から(約3時間)  
車で名神高速道路-一宮JCT-東海北陸自動車道-富山  
高速バス(約3時間40分)
- 北海道 から** 新千歳空港から(約1時間30分)



### 高岡キャンパス

〒933-8588 高岡市二上町180  
代表電話: 0766-25-9111

- バス  
高岡駅から約20分  
JR新高岡駅から約30分
- 市内電車  
高岡駅から約20分  
「米島口(よねじまぐち)」降車徒歩20分
- タクシー  
高岡駅から約15分  
JR新高岡駅から約20分
- 車  
能越自動車道「高岡北IC」から約10分

### 杉谷キャンパス

〒930-0194 富山市杉谷2630  
代表電話: 076-434-2281

- バス  
富山きときと空港から富山駅まで約20分  
富山駅[南口側]から約30分
- タクシー  
富山きときと空港から約25分  
富山駅[南口側]から約25分
- 車  
北陸自動車道「富山西IC」から約5分  
または「富山IC」から約25分

### 五福キャンパス

〒930-8555 富山市五福3190  
代表電話: 076-445-6011

- バス  
富山きときと空港から富山駅まで約20分  
富山駅[南口側]から約20分
- 市内電車  
富山駅[南口側]から約15分
- タクシー  
富山きときと空港から約20分  
富山駅[南口側]から約15分
- 車  
北陸自動車道「富山西IC」から約15分  
または「富山IC」から約20分



国立大学法人 **富山大学** 概要2021

編集 富山大学総務課広報・基金室

<https://www.u-toyama.ac.jp>



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。